

第8章 練積み造擁壁の標準構造図

8.1 標準構造図の種類

練積み造擁壁の種類としては、擁壁の背面の状態（切土か盛土）によって切土タイプと盛土タイプの2種類があります。表8-1参照

過去に造成が行われている場合及び切土と盛土を同時に行う場合には、盛土タイプを使用してください。

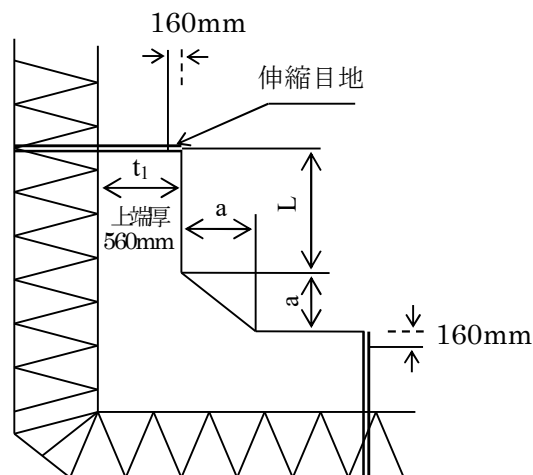
8.2 標準構造図使用上の注意点

- 1) 設置地盤の地耐力が表8-1の値以上にしてください。軟弱地盤や、過去に埋立てを行っている地盤等については、地盤改良等を行い地耐力を確認してください。地盤改良等を行った場合でも、標準構造図の均しコンクリート・基礎砕石は施行してください。
- 2) 地表面載荷重は、 5kN/m^2 (0.5tf/m^2) とし、擁壁背面は水平にしてください。
- 3) 間知石を使用する場合は、控え長さが30cm以上にしてください。
- 4) 間知石ブロックを使用する場合は、重量、強度、使用実績等を調べて、間知石と同等以上であることを確認してください。
- 5) コンクリートの設計基準強度は、 18N/mm^2 (180kgf/cm^2) 以上にしてください。
- 6) 練積み造擁壁の上にフェンス等を設置しないでください。
- 7) 隣地沿いに設置する場合、上載荷重の制限を隣地所有者等に説明し承諾を受けてください。

表8-1 練積み造擁壁の標準構造図の種類と地耐力

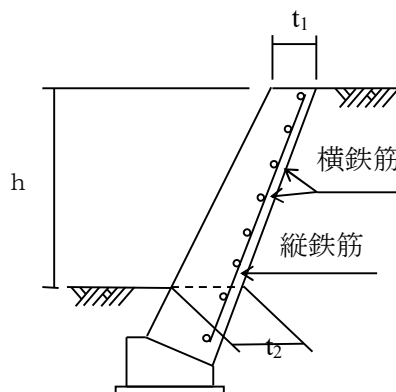
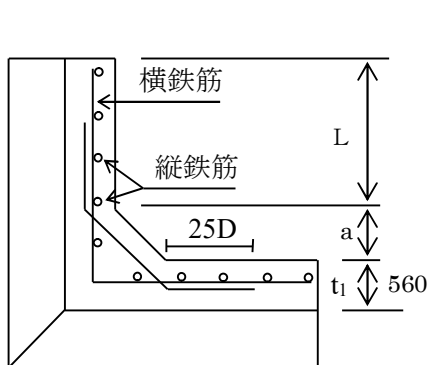
高 さ	勾 配	$\theta \leq 65^\circ$	$65^\circ < \theta \leq 70^\circ$	$70^\circ < \theta \leq 75^\circ$	許容地耐力
2.0m	盛土	P.38	P.37	P.36	75kN/m ²
	切土	P.41	P.40	P.39	
3.0m	盛土	P.38	P.37	P.36	75kN/m ²
	切土	P.41	P.40	P.39	
4.0m	盛土	P.38	P.37		100kN/m ²
	切土	P.41	P.40		
5.0m	盛土	P.38			125kN/m ²
	切土	P.41			

練積み造擁壁の隅角部補強

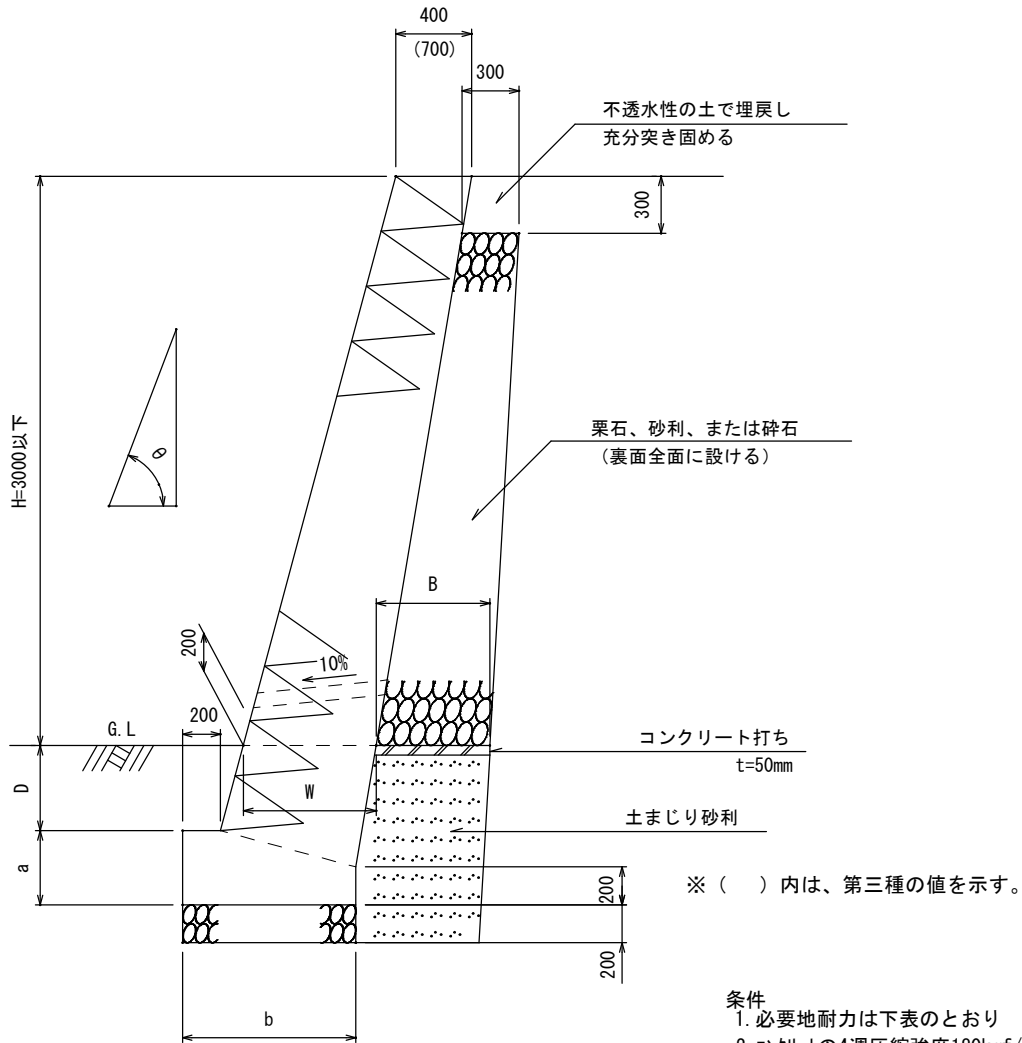


擁壁の高さ(m)	切盛の区別	上端厚 t_1 (mm)	下端厚 t_2 (mm)	幅 a(cm)	伸縮目地 L(m)
3.0 以下	盛土 切土	560	通常と同じ (ただし、通常が 560 未満の場合、 560)	50	2.0 以上で擁壁の 見かけ高さ程度
3.0 を 超える				60	

擁壁高 h(m)	横鉄筋	縦鉄筋
	鉄筋径-ピッチ(mm)	鉄筋径-ピッチ(mm)
3.0 以下	D 13-@250	D 13-@400
4.0 以下	D 16-@250	D 16-@400
5.0 以下	D 19-@250	D 19-@400



見かけ高さ3.0m以下
(盛土用)
 $\theta \leq 75^\circ$



- 条件
1. 必要地耐力は下表のとおり
2. コンクリートの4週圧縮強度180kgf/cm²以上

第二種

土質		真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの							
記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		裏込寸法	地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
						a (cm)	b (cm)	B (cm)	
II 75-2	75° 以下	2以下	40以上	50以上	35以上	40	70	60以上	75 (7.5)
II 75-3	(2分7厘以下)	2~3	"	70 "	35~45	45	95	"	"

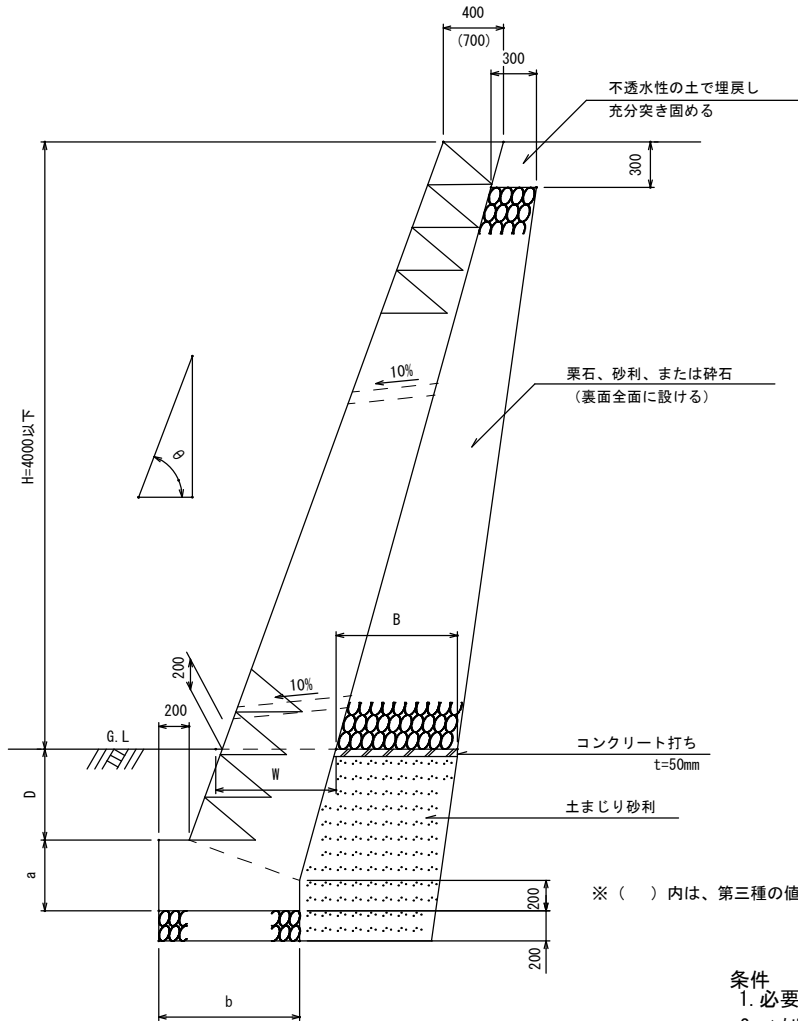
第三種

土質		その他の土質							
記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		裏込寸法	地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
						a (cm)	b (cm)	B (cm)	
III 75-2	75° 以下	2以下	70以上	85以上	45以上	45	105	60以上	75 (7.5)
III 75-3	(2分7厘以下)	2~3	"	90 "	45~60	50	110	"	"

宅地造成等規制法施行令第8条による。(基礎寸法 名古屋市)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので、3.0m³に1箇所以上設けること

見かけ高さ4.0m以下
(盛土用)
 $\theta \leq 70^\circ$



※ () 内は、第三種の値を示す。

- 条件
1. 必要地耐力は下表のとおり
2. コンクリートの4週圧縮強度180kgf/cm²以上

第二種

土質		真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの							
記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		裏込寸法	地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
						a (cm)	b (cm)	B (cm)	
II 70-2	70° 以下 (3分6厘以下)	2以下	40以上	45以上	35以上	35	65	60以上	75(7.5)
II 70-3		2~3	''	60 ''	35~45	45	80	''	''
II 70-4		3~4	''	75 ''	45~60	50	95	60~80	100(10.0)

第三種

土質		その他の土質							
記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		裏込寸法	地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
						a (cm)	b (cm)	B (cm)	
III 70-2	70° 以下 (3分6厘以下)	2以下	70以上	75以上	45以上	45	90	60以上	75(7.5)
III 70-3		2~3	''	85 ''	45~60	50	100	''	''
III 70-4		3~4	''	105 ''	60~80	60	125	60~80	100(10.0)

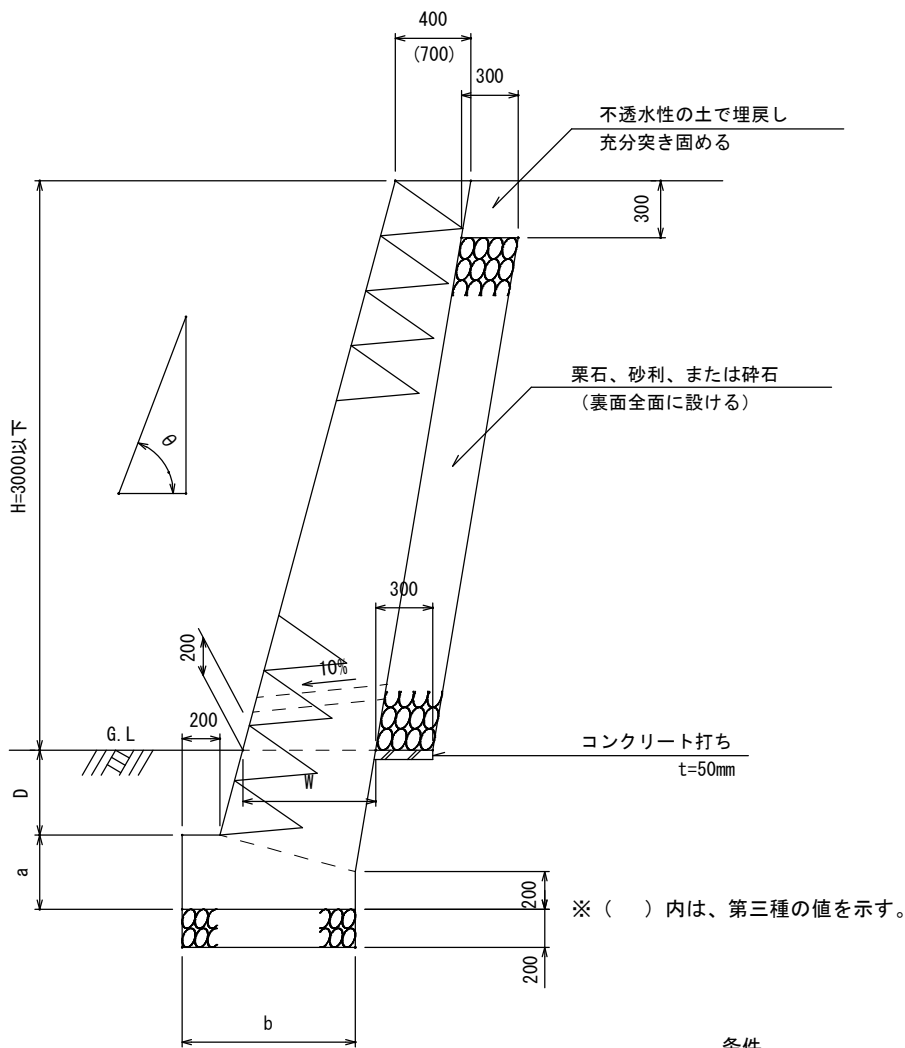
宅地造成等規制法施行令第8条による。(基礎寸法 名古屋市)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので、3.0m²に1箇所以上設けること

見かけ高さ3.0m以下

(切土用)

$\theta \leq 75^\circ$



条件

1. 必要地耐力は下表のとおり
2. コンクリートの4週圧縮強度180kgf/cm²以上

第二種

土質	真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの							
	記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法	
Ⅱ 75-2	75° 以下 (2分7厘以下)	2以下	40以上	50以上	35以上	a (cm)	b (cm)	75 (7.5)
Ⅱ 75-3			70 "	70 "	35~45	45	95	"

第三種

土質	その他の土質							
	記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法	
Ⅲ 75-2	75° 以下 (2分7厘以下)	2以下	70以上	85以上	45以上	a (cm)	b (cm)	75 (7.5)
Ⅲ 75-3			90 "	90 "	45~60	60	110	"

宅地造成等規制法施行令第8条による。(基礎寸法 名古屋市)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する防水材料を用いたもので、3.0m²に1箇所以上設けること

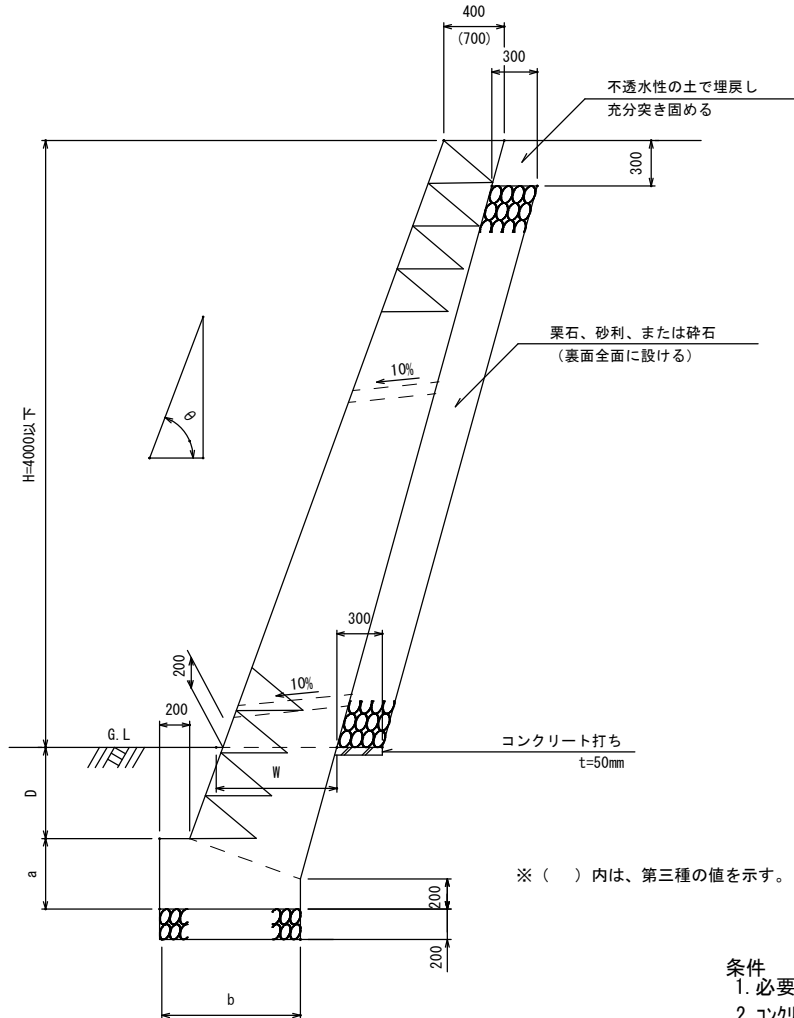
名古屋市(宅造用)間知石等練積造擁壁

縮尺 1/50
単位 mm

見かけ高さ4.0m以下

(切土用)

$\theta \leq 70^\circ$



条件

1. 必要地耐力は下表のとおり
2. コンクリートの4週圧縮強度180kgf/cm²以上

第二種

土質	真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの							
記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
						a (cm)	b (cm)	
Ⅱ70-2	70°以下 (3分6厘以下)	2以下	40以上	45以上	35以上	35	65	75(7.5)
Ⅱ70-3		2~3	''	60''	35~45	45	80	''
Ⅱ70-4		3~4	''	75''	45~60	50	95	100(10.0)

第三種

土質	その他の土質							
記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
						a (cm)	b (cm)	
Ⅲ70-2	70°以下 (3分6厘以下)	2以下	70以上	75以上	45以上	45	90	75(7.5)
Ⅲ70-3		2~3	''	85''	45~60	50	100	''
Ⅲ70-4		3~4	''	105''	60~80	60	125	100(10.0)

宅地造成等規制法施行令第8条による。(基礎寸法 名古屋市)

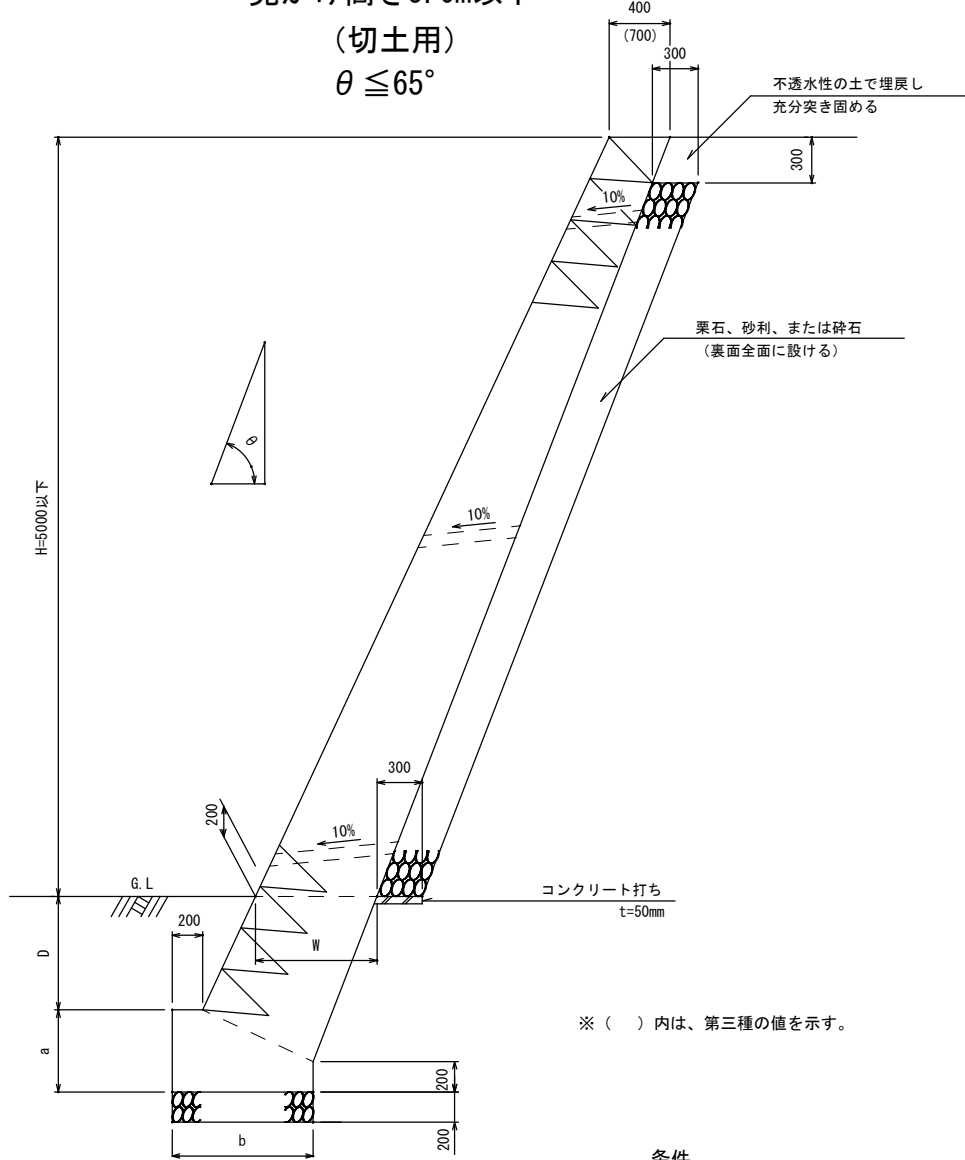
※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので、3.0m²に1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)間知石等練積造擁壁

縮尺 1/50
単位 mm

見かけ高さ5.0m以下

(切土用)
 $\theta \leq 65^\circ$



※ () 内は、第三種の値を示す。

条件

1. 必要地耐力は下表のとおり
2. コンクリートの4週圧縮強度180kgf/cm²以上

第二種

土質	真砂土、関東ローム、硬質粘土その他これらに類するもの								
	記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
							a (cm)	b (cm)	
	II 65-2	65° 以下 (4分7厘以下)	2以下	40以上	40以上	35以上	35	55	75 (7.5)
	II 65-3		2~3	"	50 "	35~45	40	65	"
	II 65-4		3~4	"	65 "	45~60	45	80	100 (10.0)
	II 65-5		4~5	"	80 "	60~75	50	100	125 (12.5)

第三種

土質	その他の土質								
	記号	勾配(θ)	高さ(H) (m)	上端厚 (cm)	下端厚(W) (cm)	根入深(D) (cm)	基礎寸法		地耐力 kN/m ² (tf/m ²)以上
							a (cm)	b (cm)	
	III 65-2	65° 以下 (4分7厘以下)	2以下	70以上	70以上	45以上	45	80	75 (7.5)
	III 65-3		2~3	"	80 "	45~60	50	95	"
	III 65-4		3~4	"	95 "	60~80	55	110	100 (10.0)
	III 65-5		4~5	"	120 "	80~100	65	135	125 (12.5)

宅地造成等規制法施行令第8条による。(基礎寸法 名古屋市)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので、3.0m²に1箇所以上設けること

第9章 鉄筋コンクリート造等擁壁の標準構造図

9.1 標準構造図の種類

標準構造図としては、表9-1に示したように、鉄筋コンクリート擁壁として、L型、逆T型、の2種類、無筋コンクリート擁壁として重力式を作成しました。

9.2 標準構造図使用上の注意点

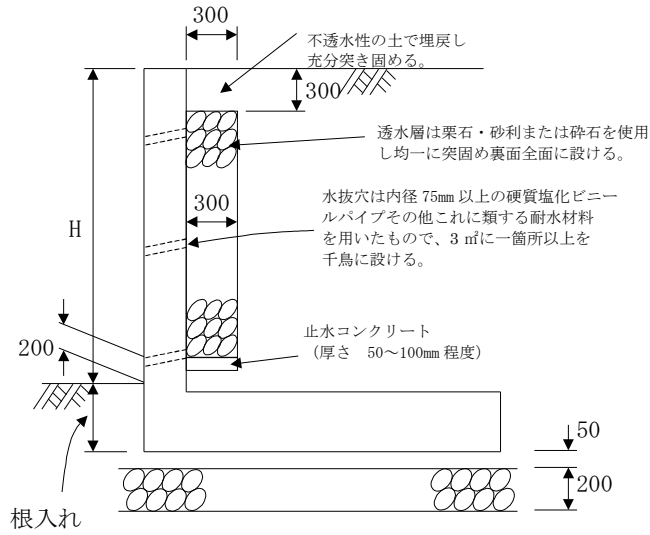
- 1) 標準構造図は、各構造図に示した条件を満足する場合だけに使用してください。
- 2) 地盤反力が 150kN/m^2 (15tf/m^2) を超える場合は、平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出してください。
- 3) 地表面載荷重は、 10kN/m^2 (1tf/m^2) とし、擁壁背面は水平にしてください。
- 4) 軟弱地盤や、過去に埋立てを行っている地盤等については、地盤改良等を行い地耐力の確認を行ってください。地盤改良等を行った場合でも、標準構造図の均しコンクリート・基礎砕石は施行してください。
- 5) 擁壁の天端にフェンスを設けるときは、ネットフェンス等、風荷重を受けない構造としてください。

表9-1 鉄筋コンクリート擁壁等の標準構造図の種類と
地耐力 (kN/m^2) ※透水マットの場合 () 内は砕石等の場合

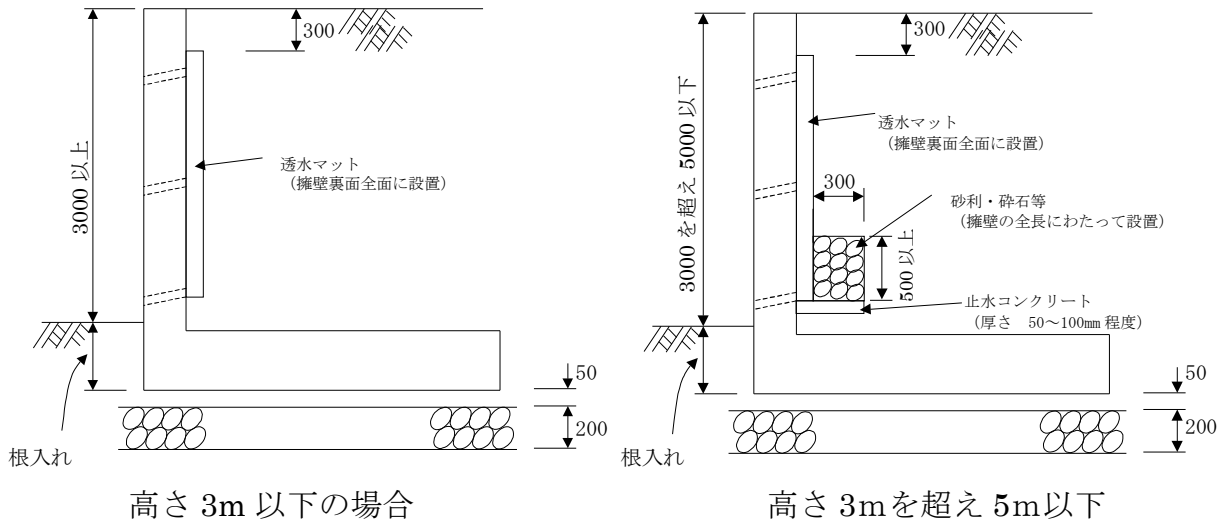
擁壁の高さ	重力式擁壁	L型擁壁	逆T型擁壁
1.0m	70 (70) P.45	80 (80) P.49	50 (50) P.58
1.5m	90 (90) P.46	100 (100) P.50	60 (60) P.59
2.0m	110 (110) P.47	120 (120) P.51	80 (80) P.60
2.5m	120 (130) P.48	130 (140) P.52	90 (90) P.61
3.0m		150 (160) P.53	110 (120) P.62
3.5m		170 (190) P.54	130 (140) P.63
4.0m		190 (200) P.55	150 (160) P.64
4.5m		210 (230) P.56	170 (180) P.65
5.0m		230 (250) P.57	190 (200) P.66

鉄筋コンクリート擁壁標準断面図

透水層（栗石・砕石等）

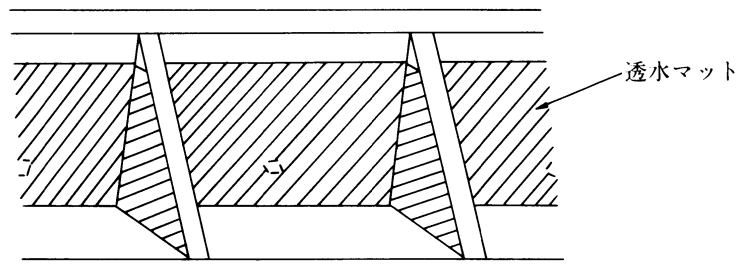


透水層（透水マット）



高さ 3m 以下の場合

高さ 3m を超え 5m 以下

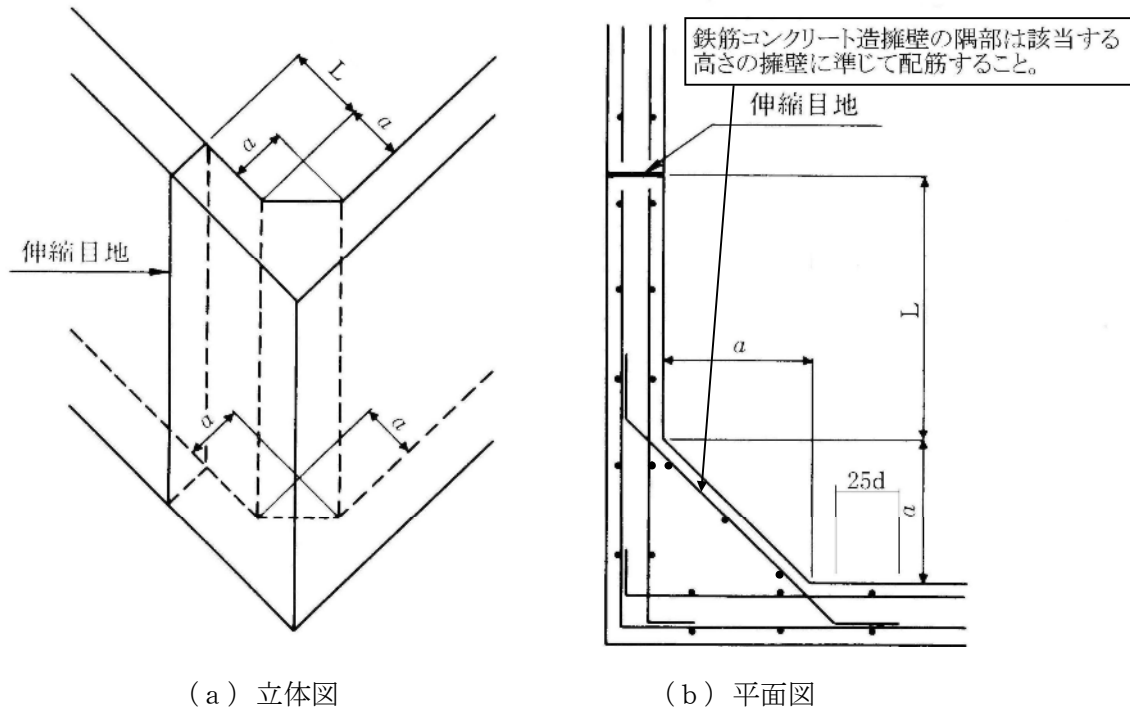


透水マットの設置方法

鉄筋コンクリート擁壁の隅角部補強

隅角部補強を要する箇所は、隅角部の角度が 60 度～120 度の範囲とします。

コーナー補強筋は、堅壁の配力筋と同径、同ピッチとしてください。

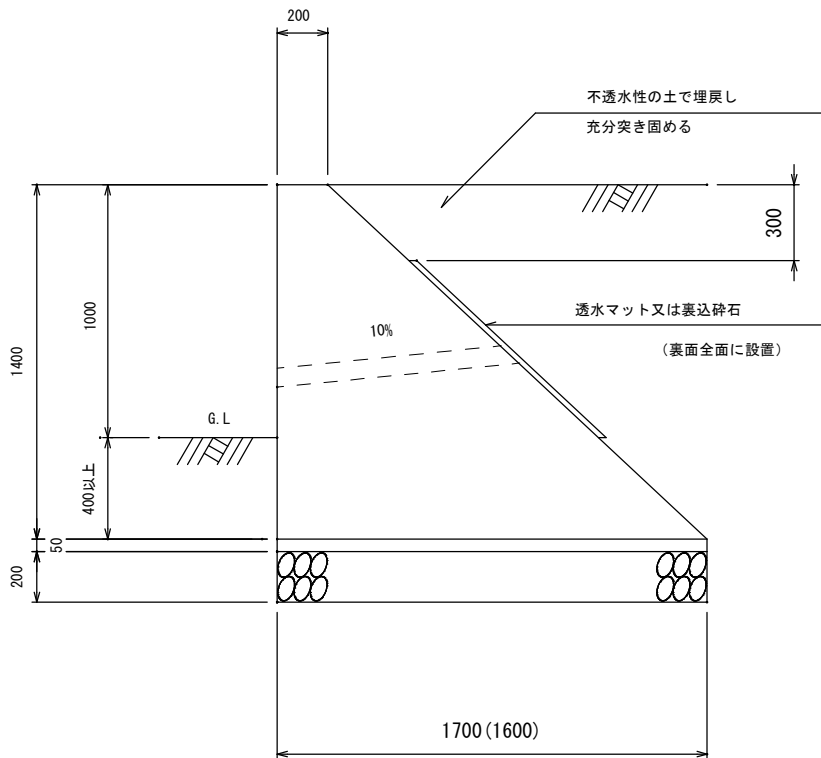


- ・ 擁壁の見かけ高さ 3.0m 以下のとき、 $a=50\text{cm}$
- ・ 擁壁の見かけ高さ 3.0m を越えるとき、 $a=60\text{cm}$
- ・ 伸縮目地を設ける場合の目地の位置 (L) は、擁壁の見かけ高さ程度かつ 2.0m 以上とする。

名古屋市(宅造用)重力式擁壁

縮尺 1/30
単位 mm

見かけ高さ1.0m(G-1.0)



底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

設計条件

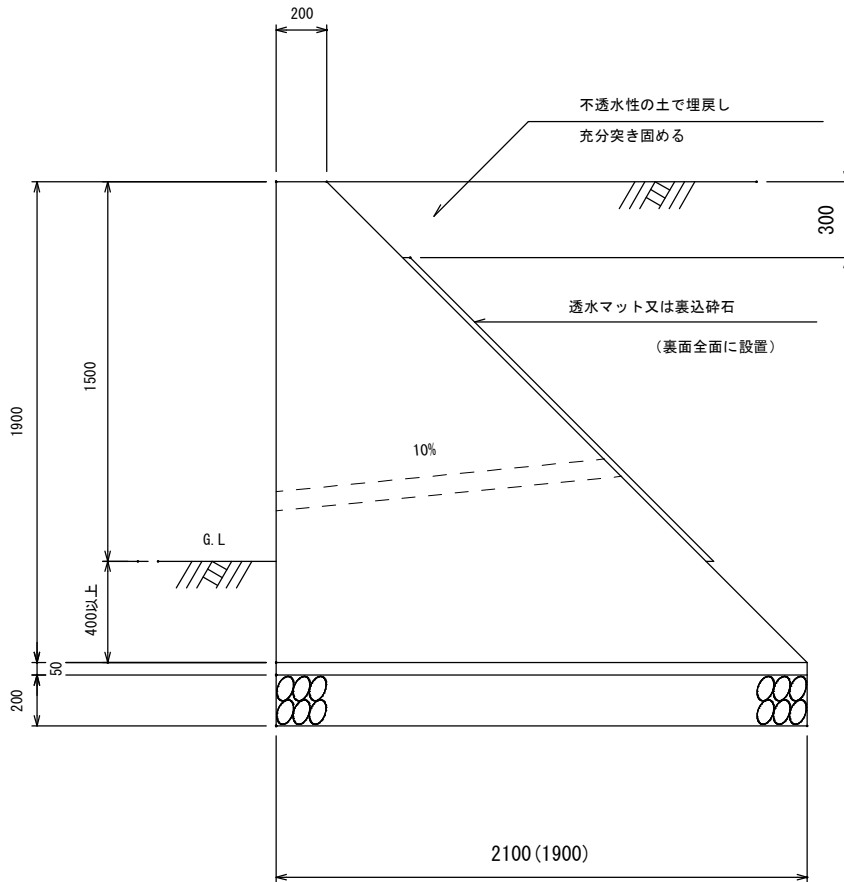
項目		単位
地耐力（砂質土）	70 (7.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの単位体積重量	23 (2.3)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度（σ ₂₈ ）	18 (180)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)重力式擁壁

縮尺 1/30
単位 mm

見かけ高さ1.5m(G-1.5)



底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

設計条件

項目		単位
地耐力（砂質土）	90(9.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの単位体積重量	23(2.3)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度（σ ₂₈ ）	18(180)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

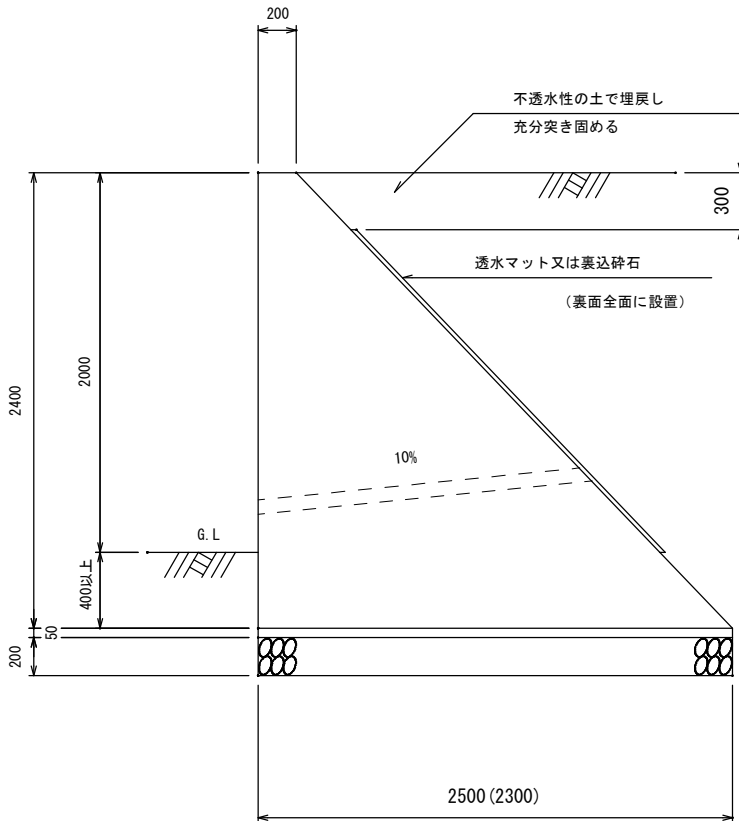
※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)重力式擁壁

縮尺 1/40

単位 mm

見かけ高さ2.0m(G-2.0)



底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

設計条件

項目		単位
地耐力（砂質土）	110(11.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの単位体積重量	23(2.3)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度（σ ₂₈ ）	18(180)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

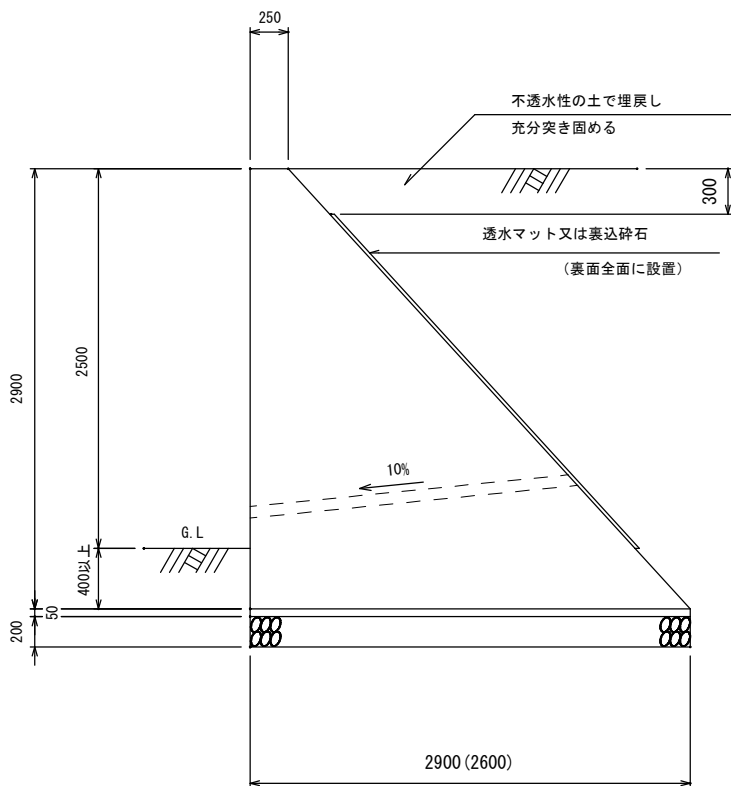
※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)重力式擁壁

縮尺 1/50

単位 mm

見かけ高さ2.5m(G-2.5)



底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

設計条件

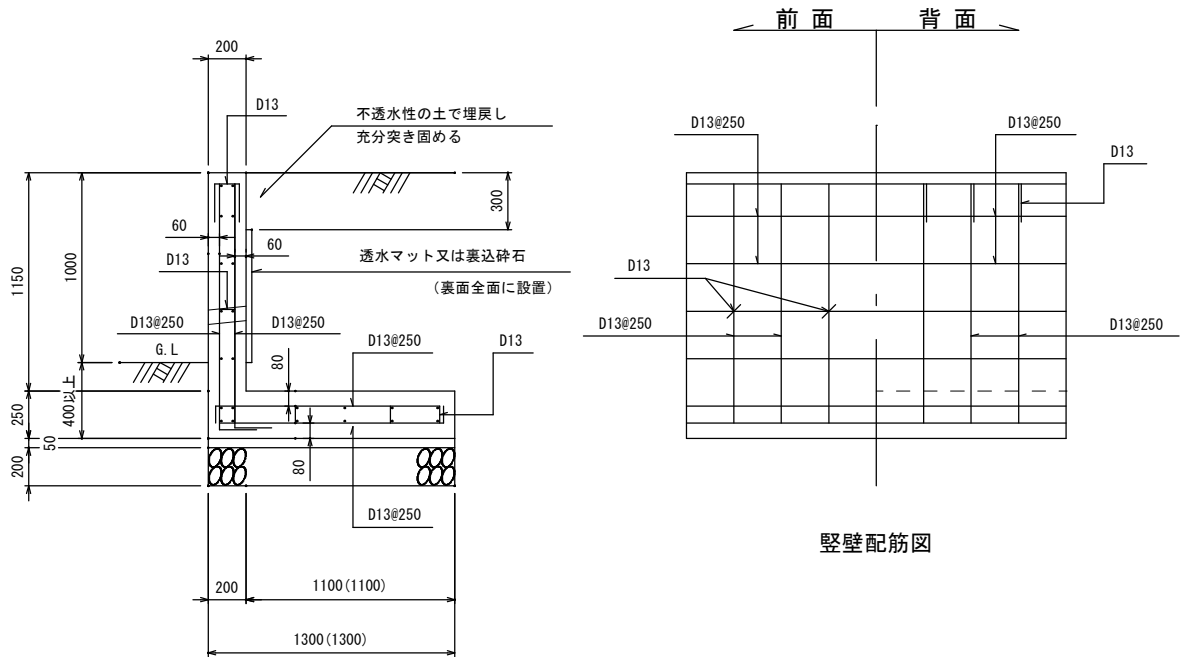
項目		単位
地耐力（砂質土）	120(12.0):透水マット 130(13.0):碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの単位体積重量	23(2.3)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度（σ ₂₈ ）	18(180)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

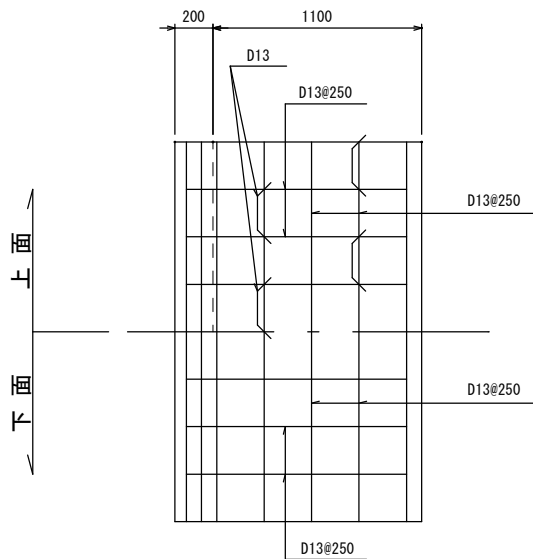
縮尺 1/40
単位 mm

見かけ高さ1.0m(L-1.0)



縦壁配筋図

底板幅：透水層に砕石、栗石等(厚さ30cm以上)を裏面全面に設置して用いる場合は()内数値まで底板幅を縮小できる



底板配筋図

設計条件

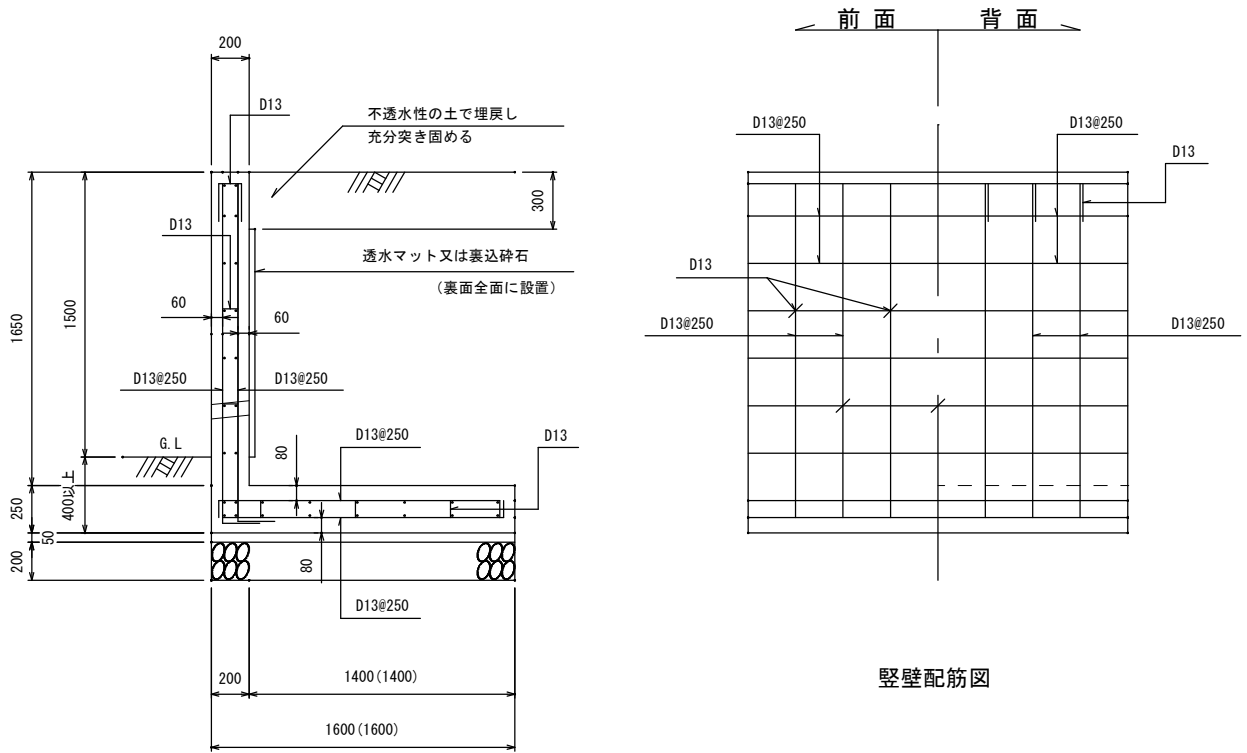
項目		単位
地耐力(砂質土)	80(8.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

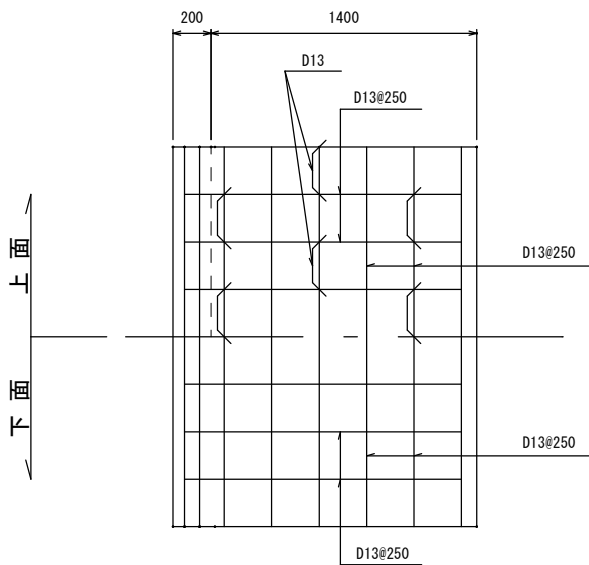
縮尺 1/40
単位 mm

見かけ高さ1.5m(L-1.5)



縦壁配筋図

底板幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底板幅を縮小できる



底板配筋図

設計条件

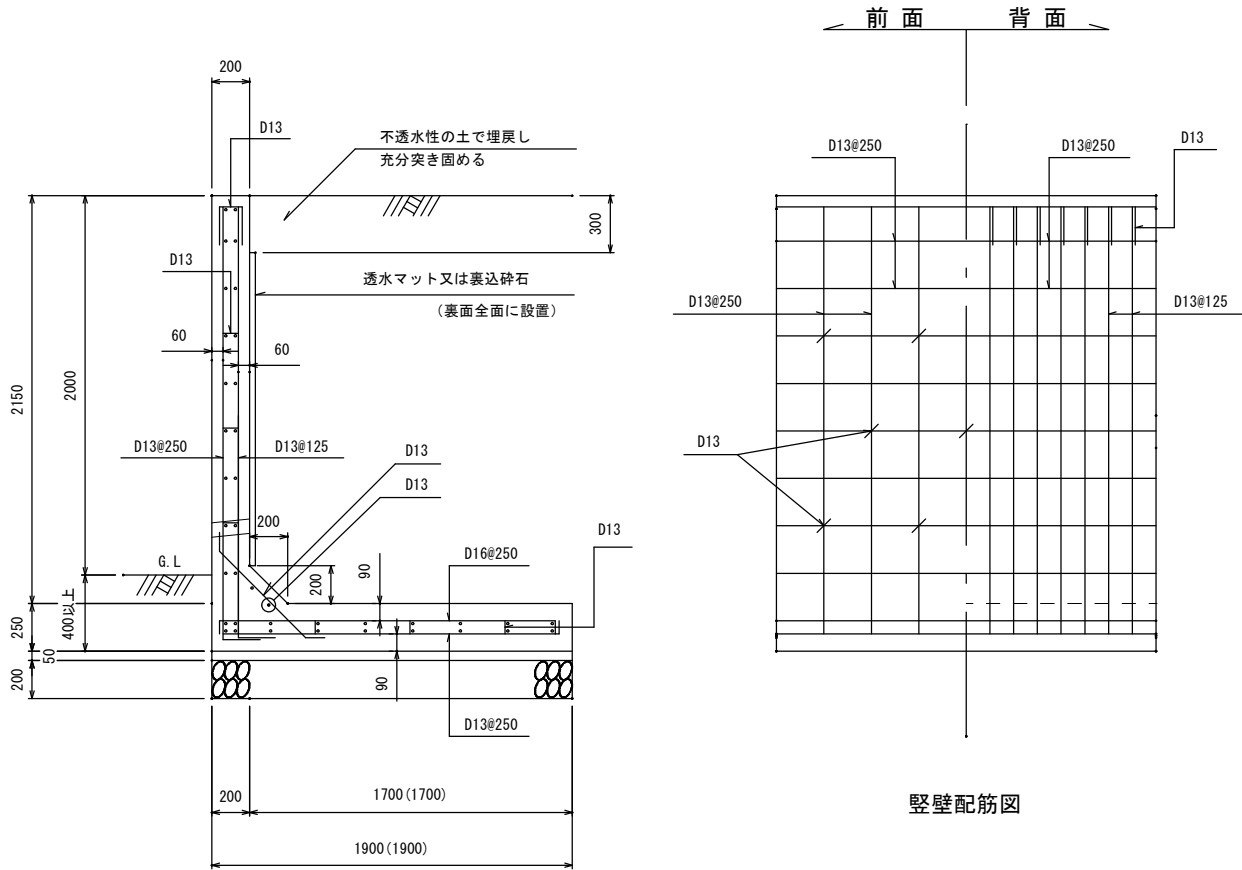
項目		単位
地耐力(砂質土)	100(10.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

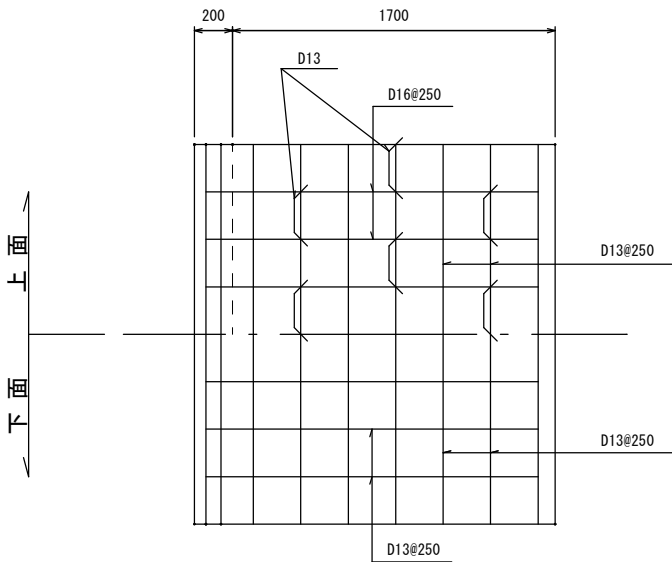
縮尺 1/40
単位 mm

見かけ高さ2.0m(L-2.0)



縦壁配筋図

底板幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底板幅を縮小できる



底板配筋図

設計条件

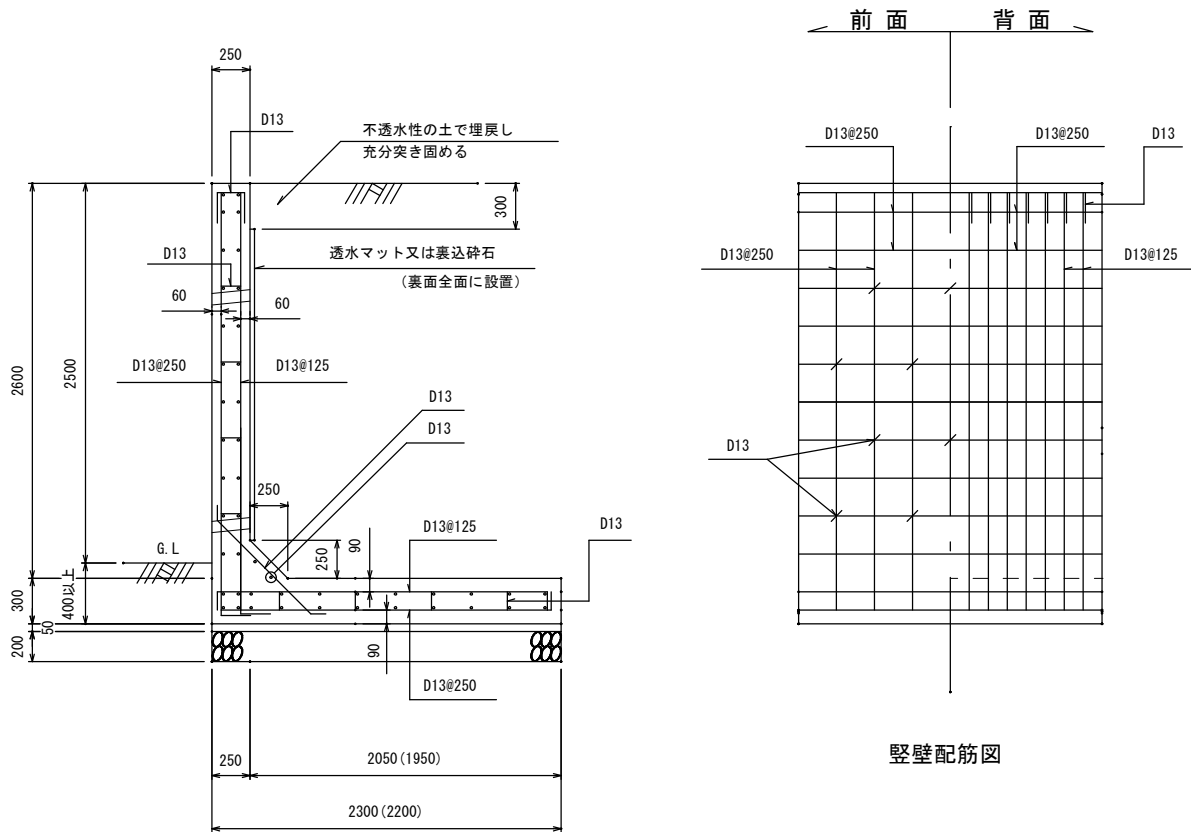
項目		単位
地耐力(砂質土)	120(12.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(21)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

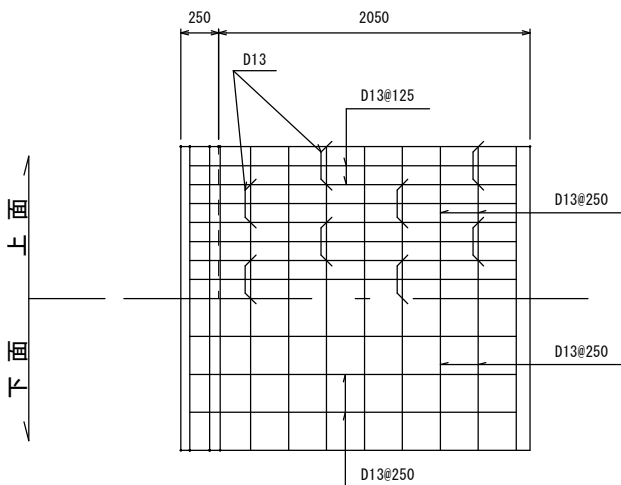
縮尺 1/50
単位 mm

見かけ高さ2.5m(L-2.5)



縦壁配筋図

底板幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底板幅を縮小できる



底板配筋図

設計条件

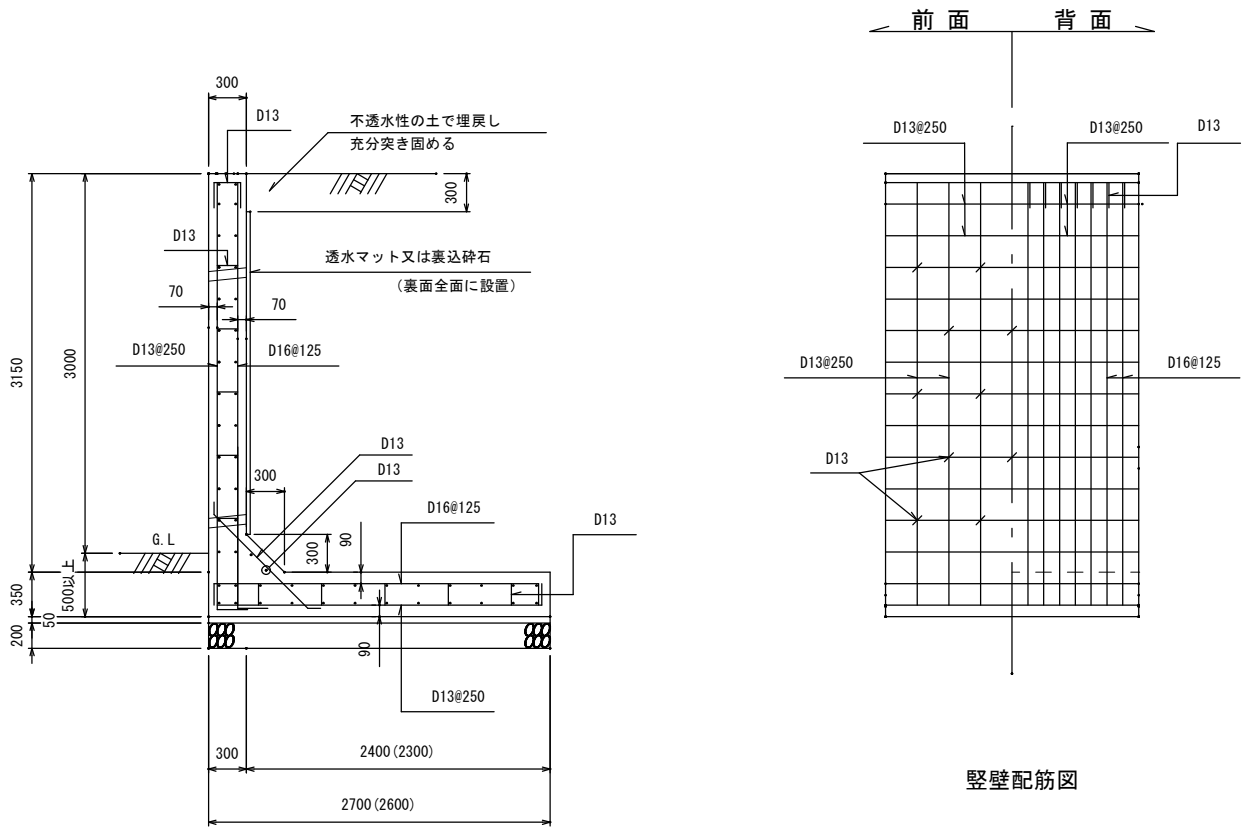
項目		単位
地耐力 (砂質土)	130 (13.0) : 透水マット 140 (14.0) : 碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類 (砂質土)	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ ₂₈)	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋 (SD295A) の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

縮尺 1/60
単位 mm

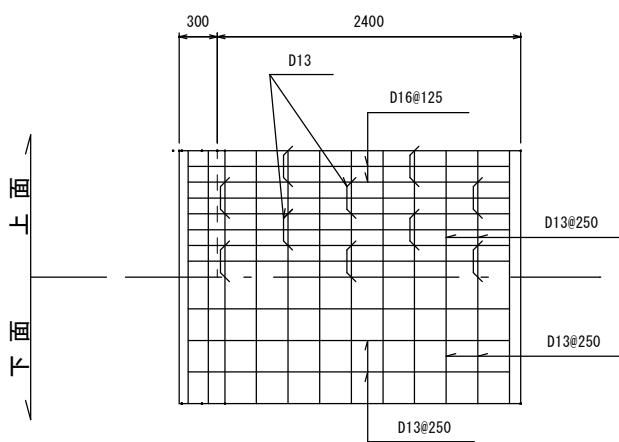
見かけ高さ3.0m (L-3.0)



縦壁配筋図

底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

※地盤反力が 150kN/m^2 (15tf/m^2) を超える場合、平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底版配筋図

設計条件

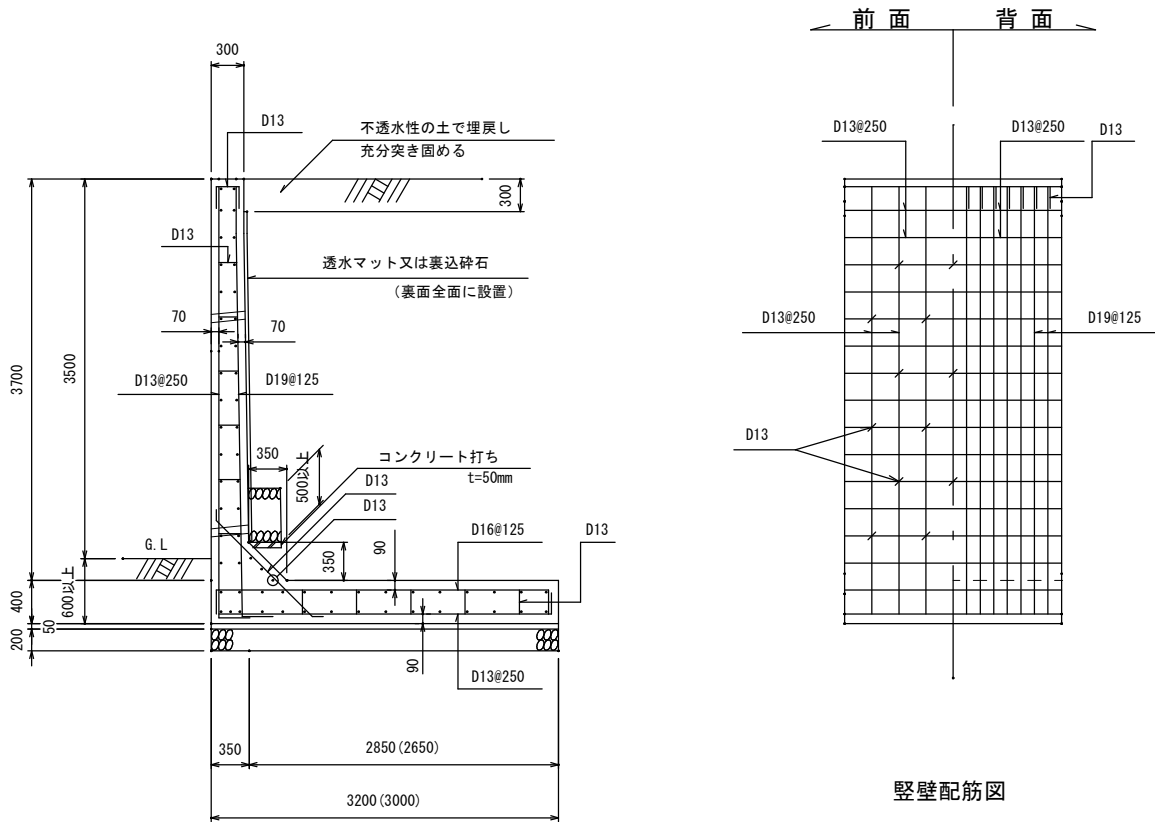
項目		単位
地耐力 (砂質土)	150 (15.0) : 透水マット 160 (16.0) : 砕石等	kN/m^2 (tf/m^2)
背面土の種類 (砂質土)	内部摩擦角 $\phi 25^\circ$ 以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m^3 (tf/m^3)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m^3 (tf/m^3)
コンクリートの設計基準強度 (σ_{28})	21 (210)	N/mm^2 (kgf/cm^2)
鉄筋 (SD295A) の降伏点	295 (3000)	N/mm^2 (kgf/cm^2)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m^2 (tf/m^2)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので 3m^2 当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

縮尺 1/70
単位 mm

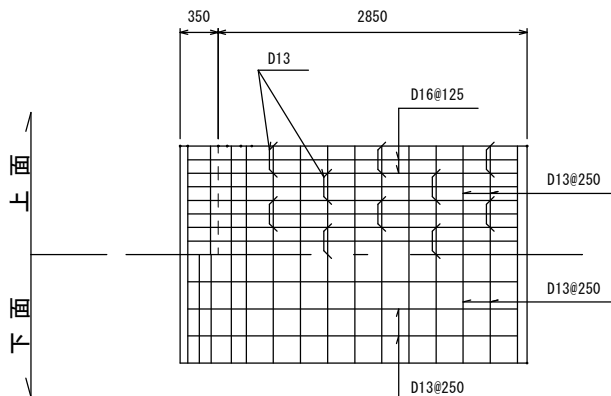
見かけ高さ3.5m(L-3.5)



縦壁配筋図

底板幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底板幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底板配筋図

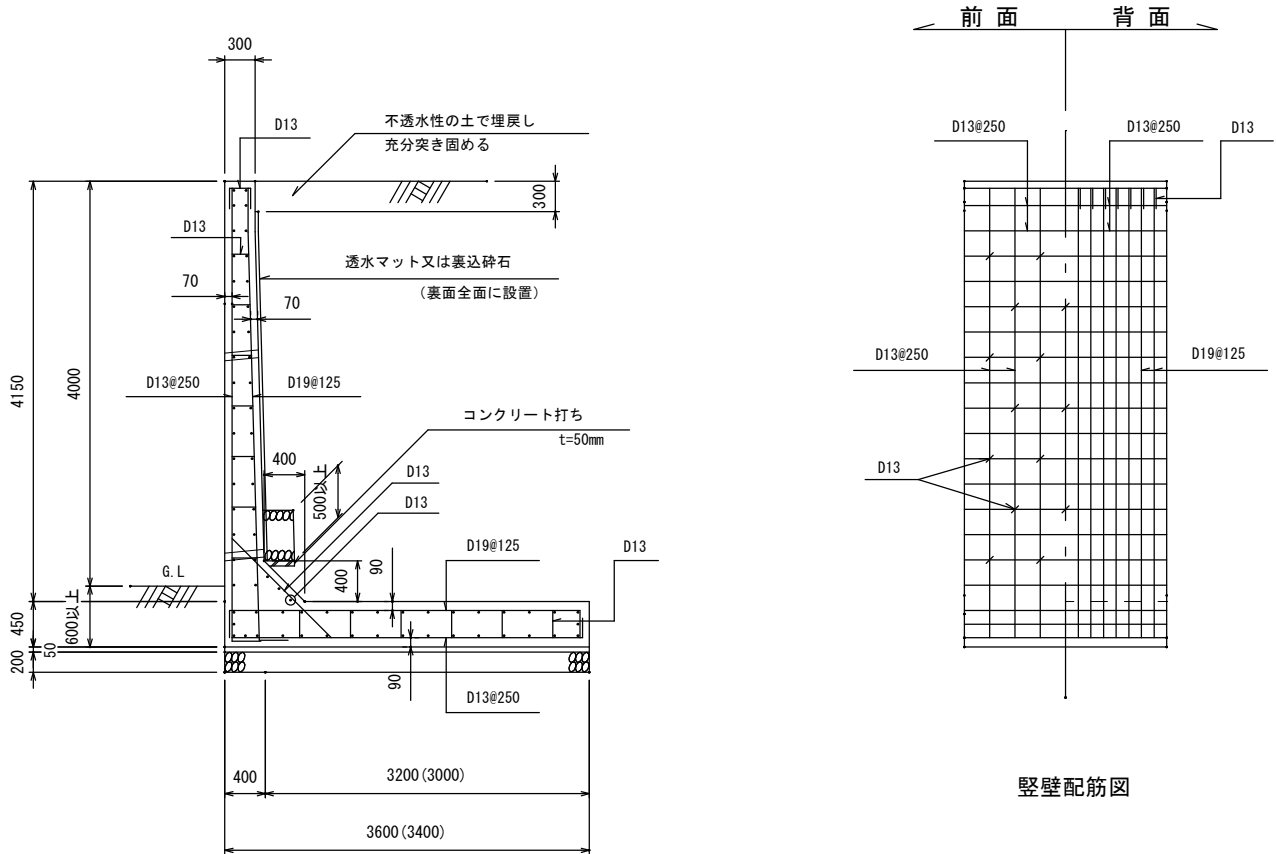
設計条件

項目		単位
地耐力（砂質土）	170(17.0):透水マット 190(19.0):碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁
見かけ高さ4.0m(L-4.0)

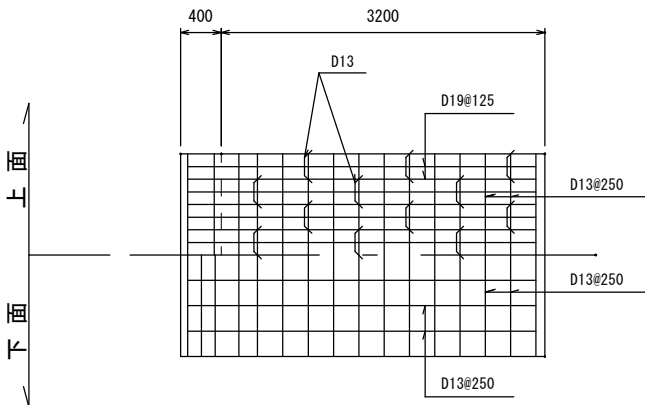
縮尺 1/75
単位 mm



縦壁配筋図

底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底版配筋図

設計条件

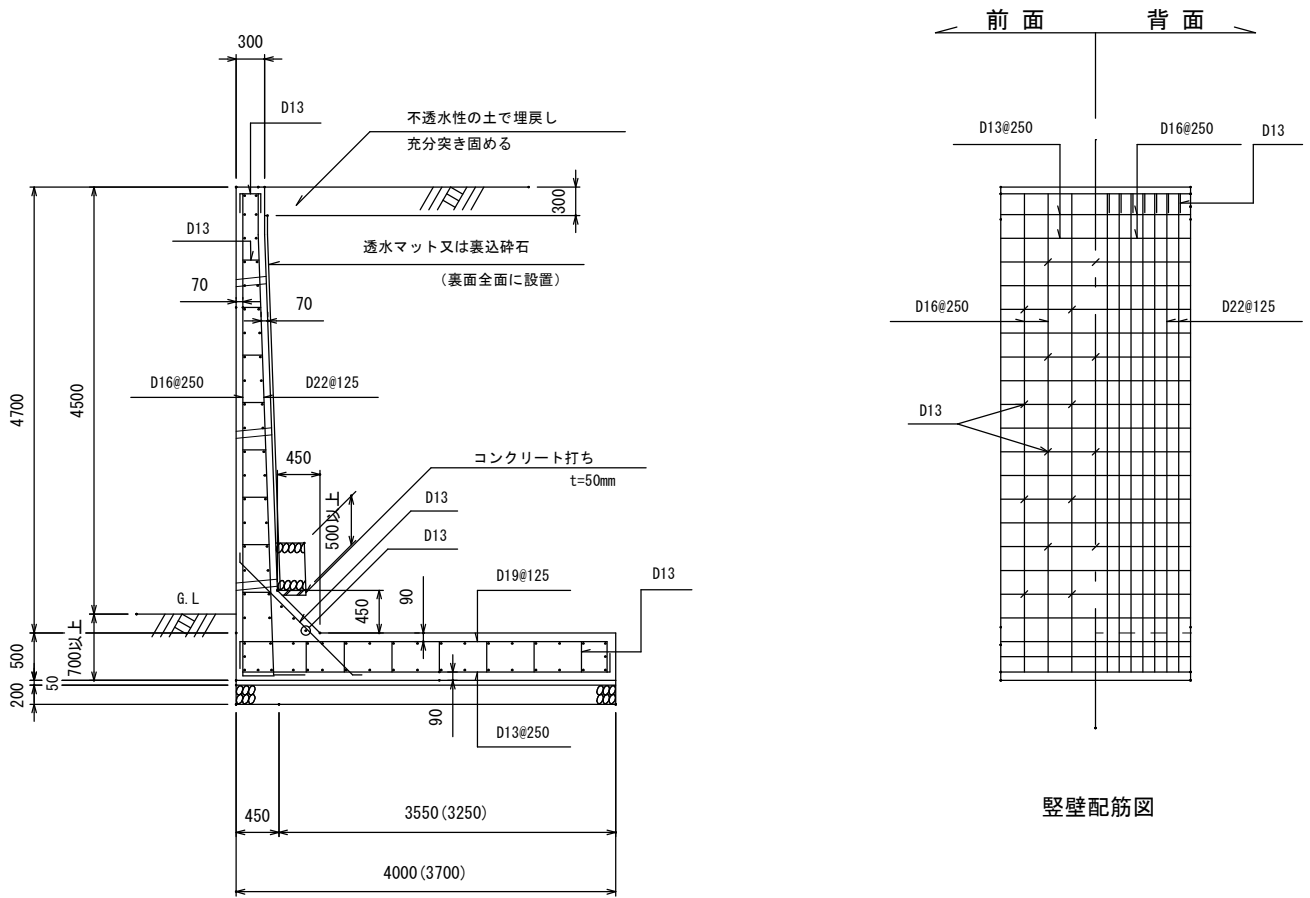
項目		単位
地耐力（砂質土）	190 (19.0) : 透水マット 200 (20.0) : 碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ ₂₈)	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋 (SD295A) の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

縮尺 1/80
単位 mm

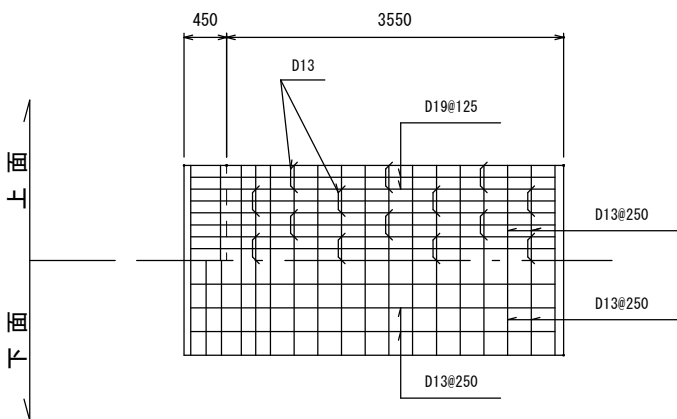
見かけ高さ4.5m(L-4.5)



縦壁配筋図

底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底版配筋図

設計条件

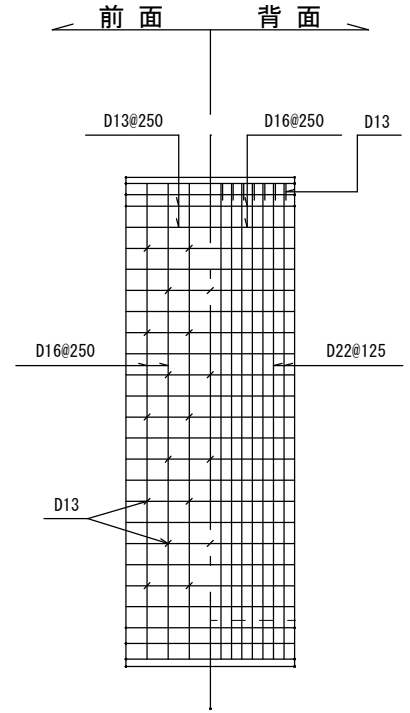
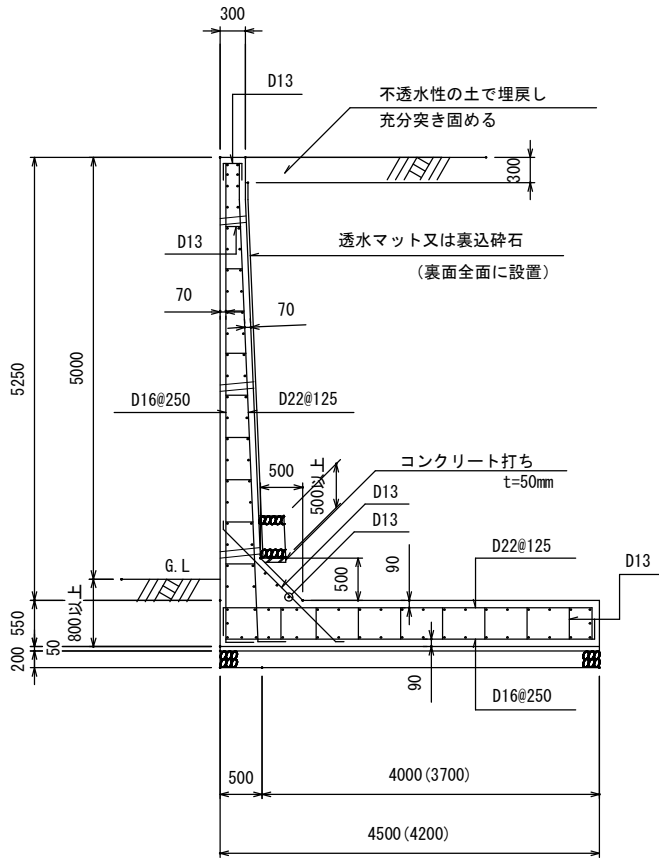
項目		単位
地耐力（砂質土）	210(21.0):透水マット 230(23.0):碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ_{28})	21(21)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用) L型擁壁

縮尺 1/100
単位 mm

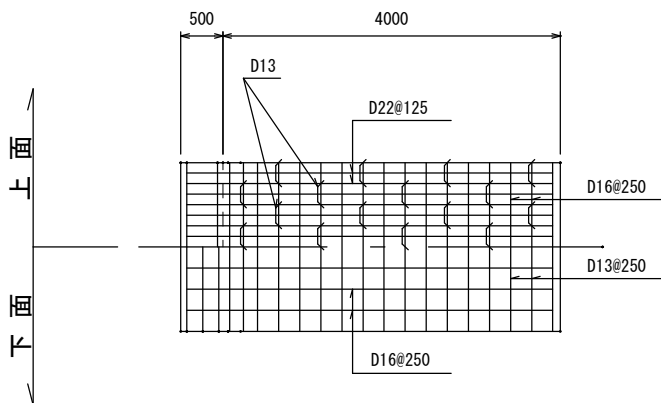
見かけ高さ5.0m (L-5.0)



縦壁配筋図

底板幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底板幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底板配筋図

設計条件

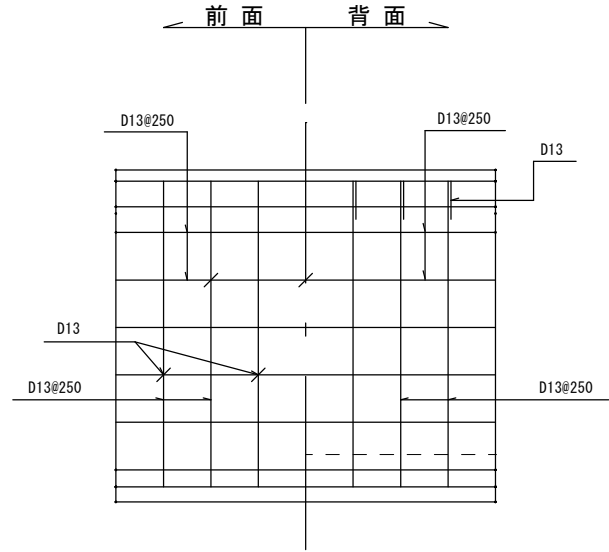
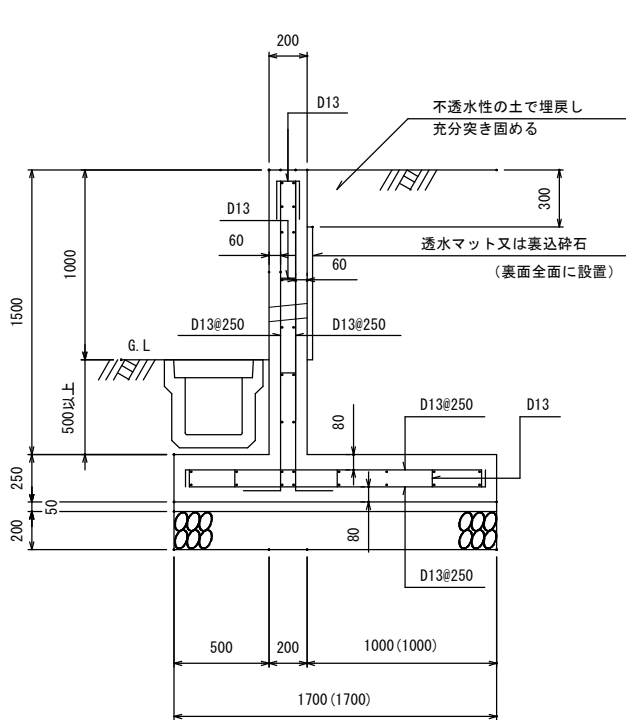
項目		単位
地耐力 (砂質土)	230 (23.0): 透水マット 250 (25.0): 砕石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類 (砂質土)	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ_{28})	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋 (SD295A) の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/40
単位 mm

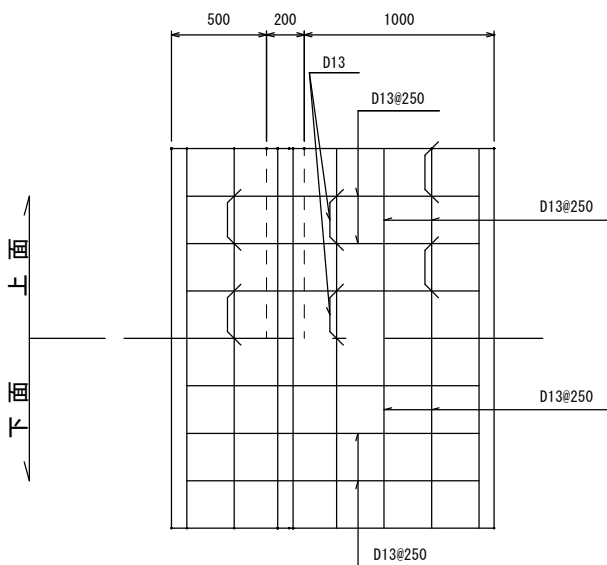
見かけ高さ1.0m(G T-1.0)



縦壁配筋図

根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること

底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる



底版配筋図

設計条件

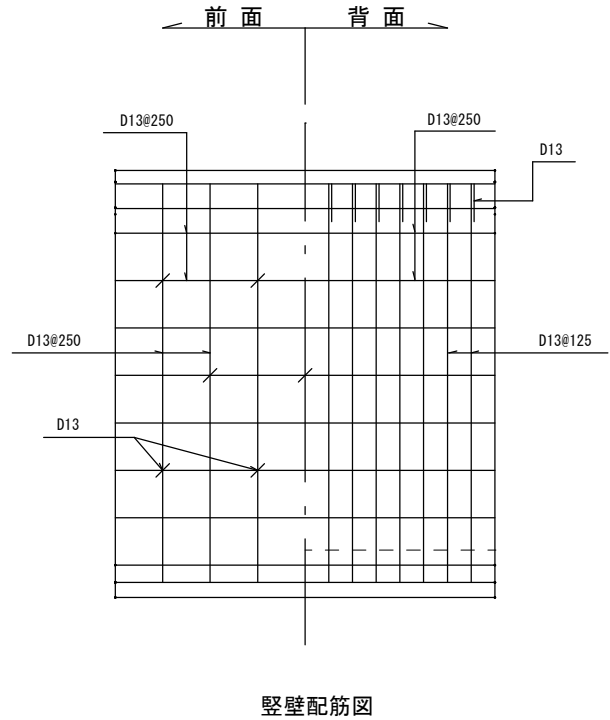
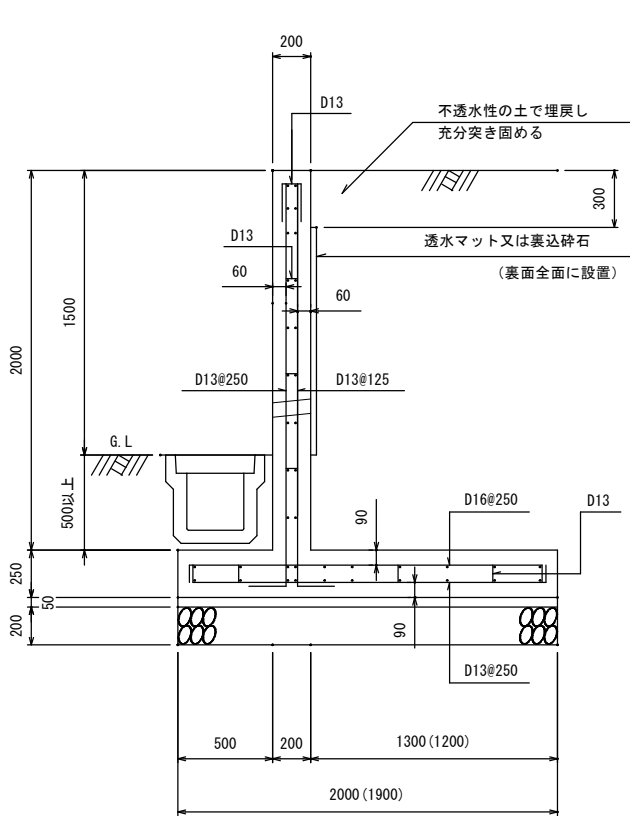
項目		単位
地耐力（砂質土）	50 (5.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17 (1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24 (2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ ₂₈)	21 (210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋 (SD295A) の降伏点	295 (3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10 (1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1 (0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

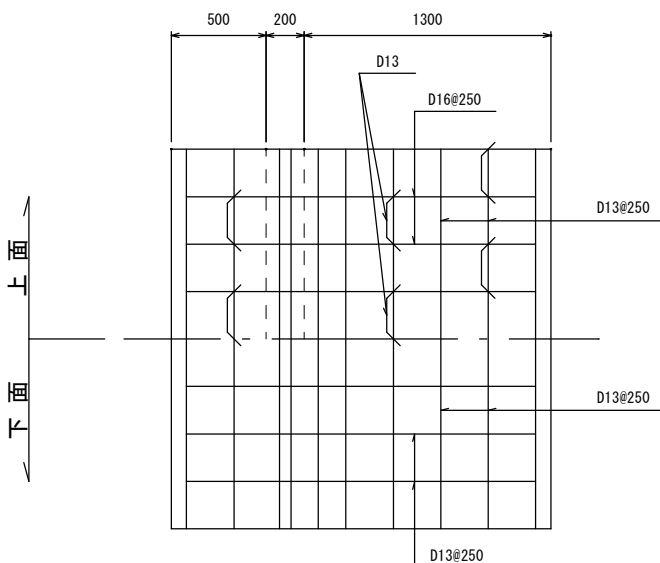
名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/40
単位 mm

見かけ高さ1.5m(G T-1.5)



根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること
底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる



設計条件

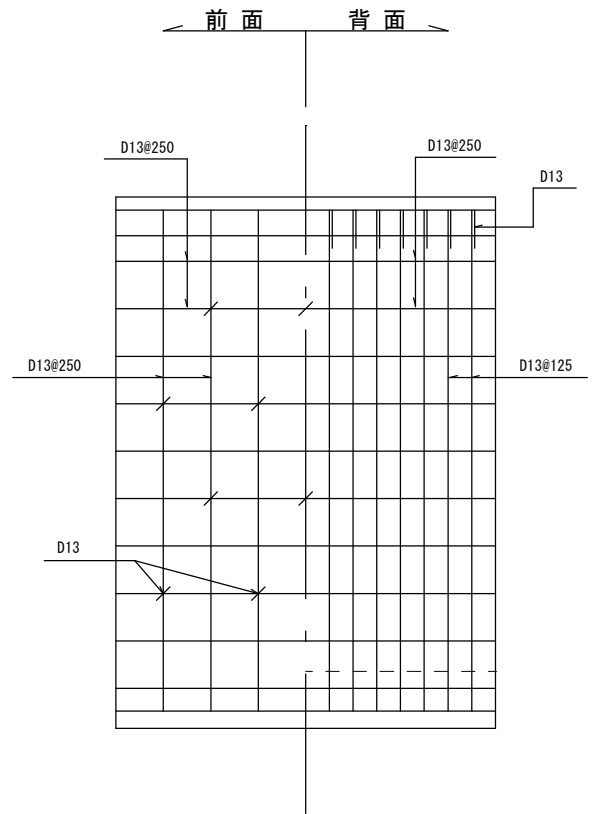
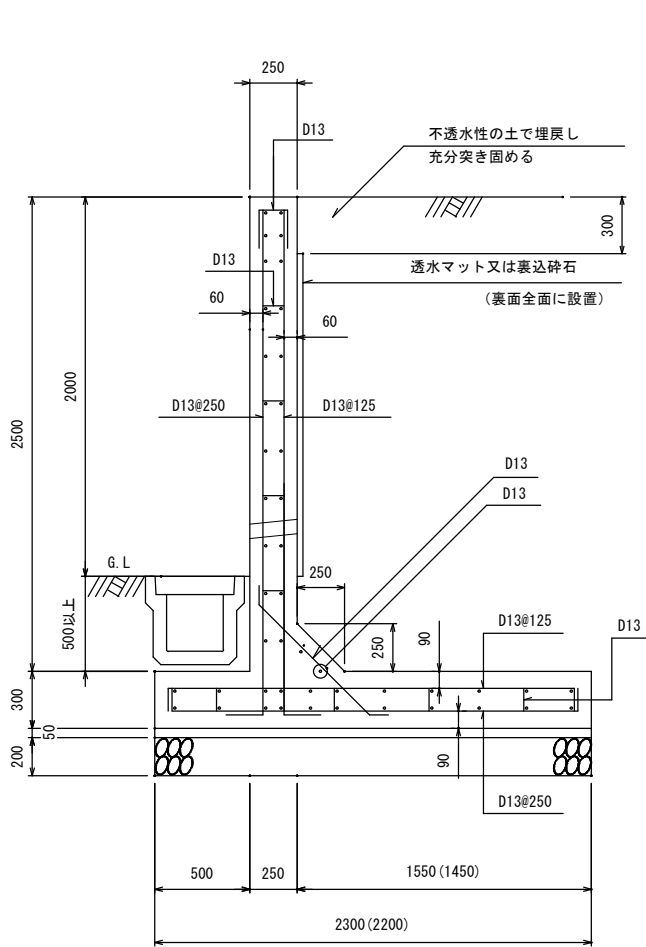
項目		単位
地耐力(砂質土)	60(6.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮してない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/40
単位 mm

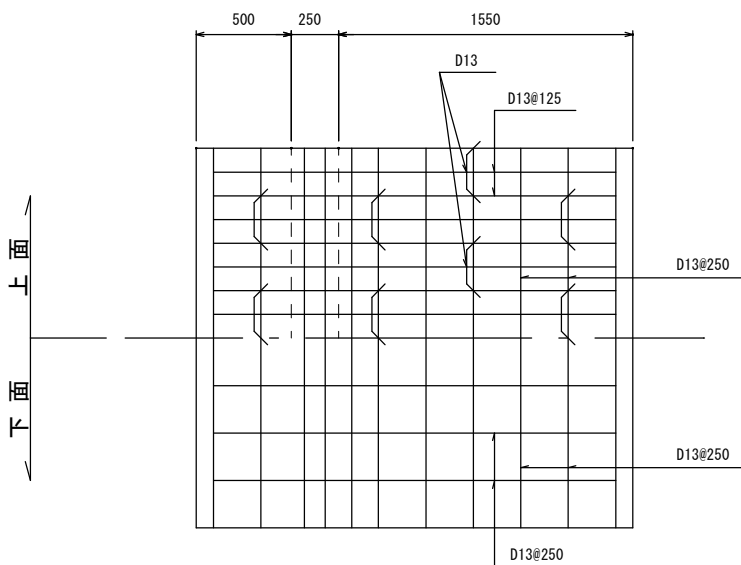
見かけ高さ2.0m(G T-2.0)



縦壁配筋図

根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること

底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる



底版配筋図

設計条件

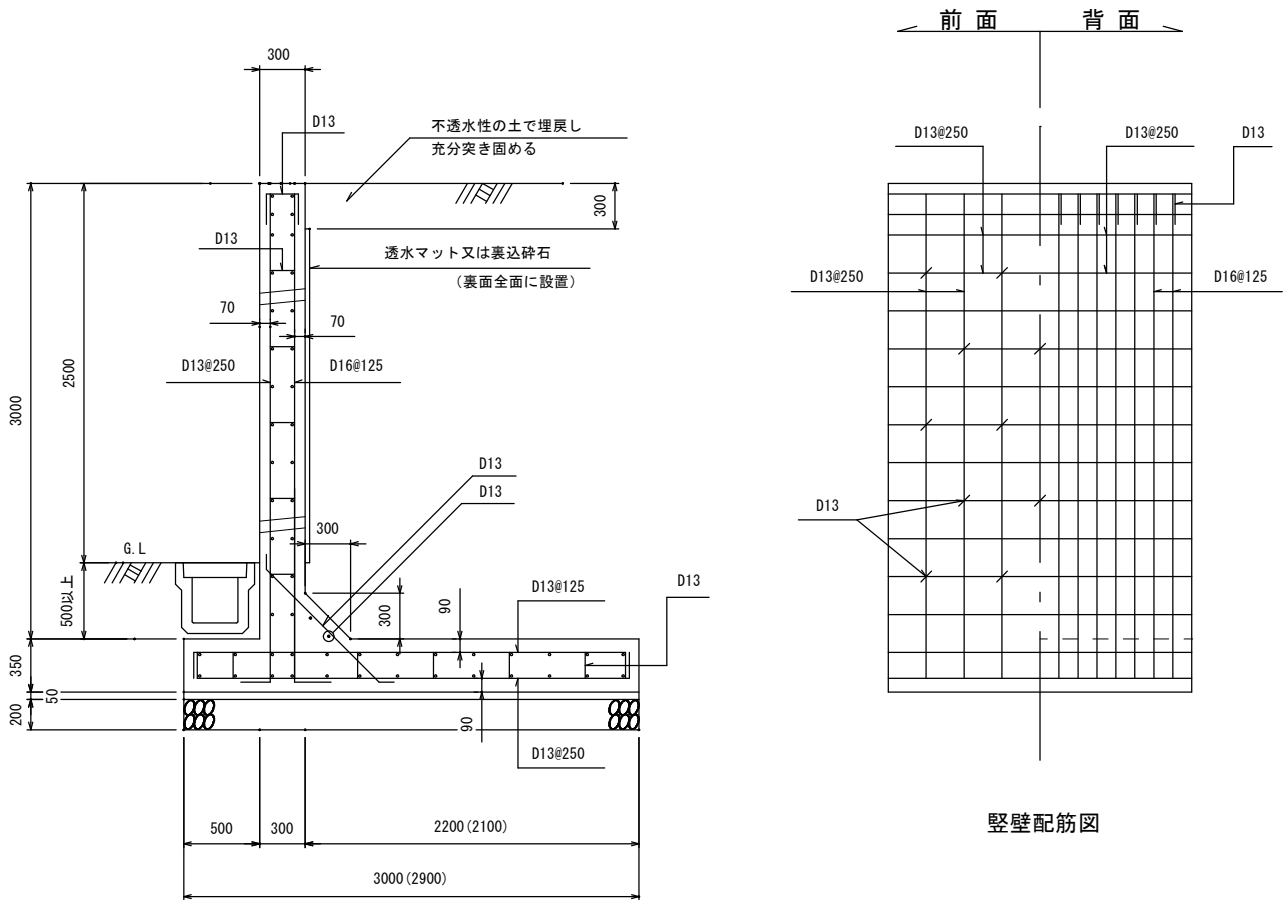
項目		単位
地耐力（砂質土）	80(8.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度（σ ₂₈ ）	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮していない	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

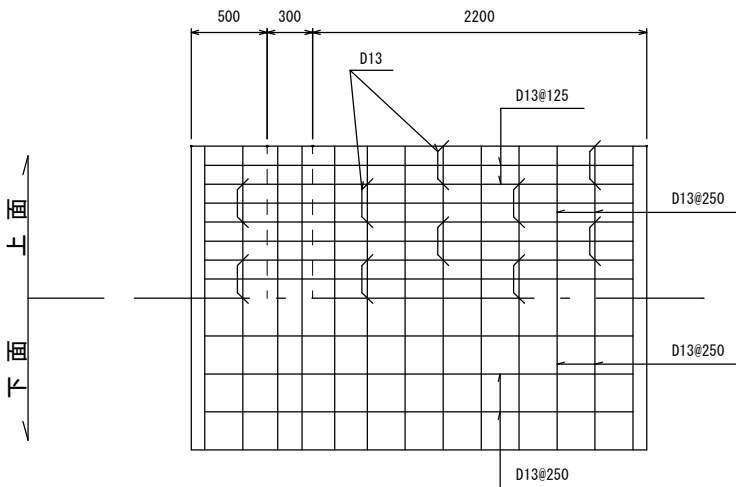
名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/50
単位 mm

見かけ高さ2.5m(G T-2.5)



根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること
底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる



底板配筋図

設計条件

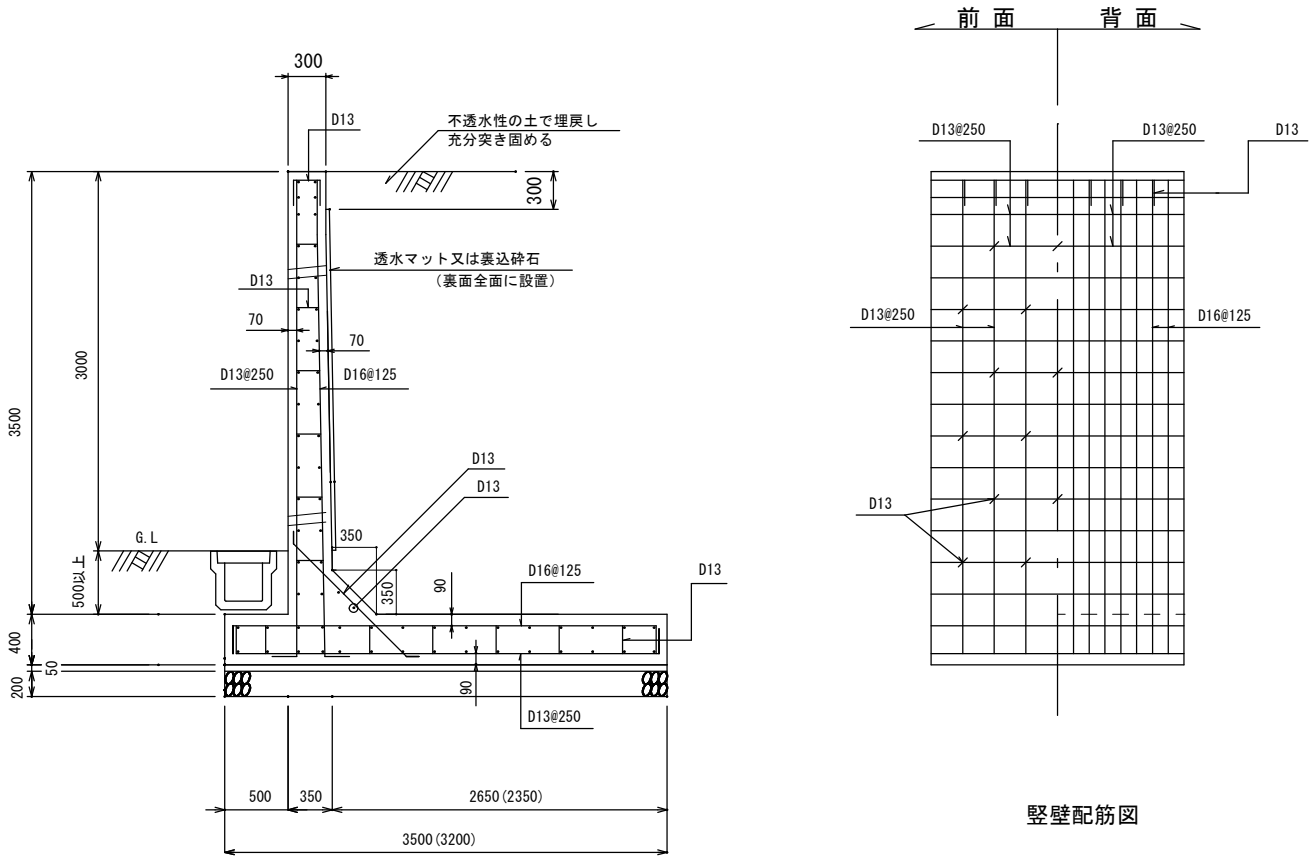
項目		単位
地耐力(砂質土)	90(9.0)	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/60
単位 mm

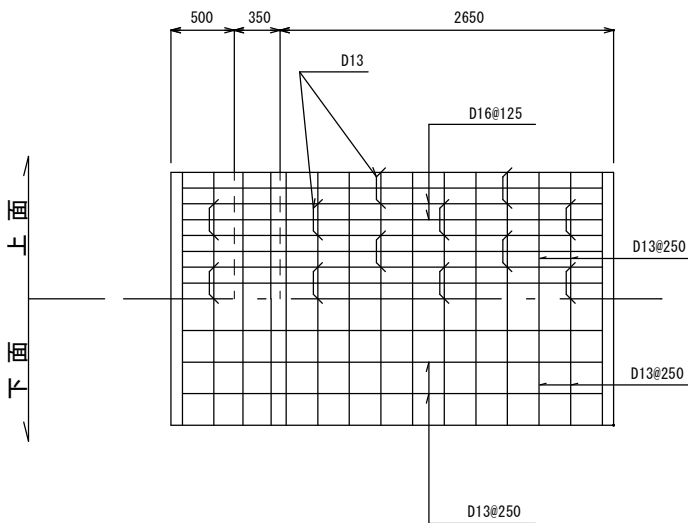
見かけ高さ3.0m(G T-3.0)



縦壁配筋図

根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること

底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる



底版配筋図

設計条件

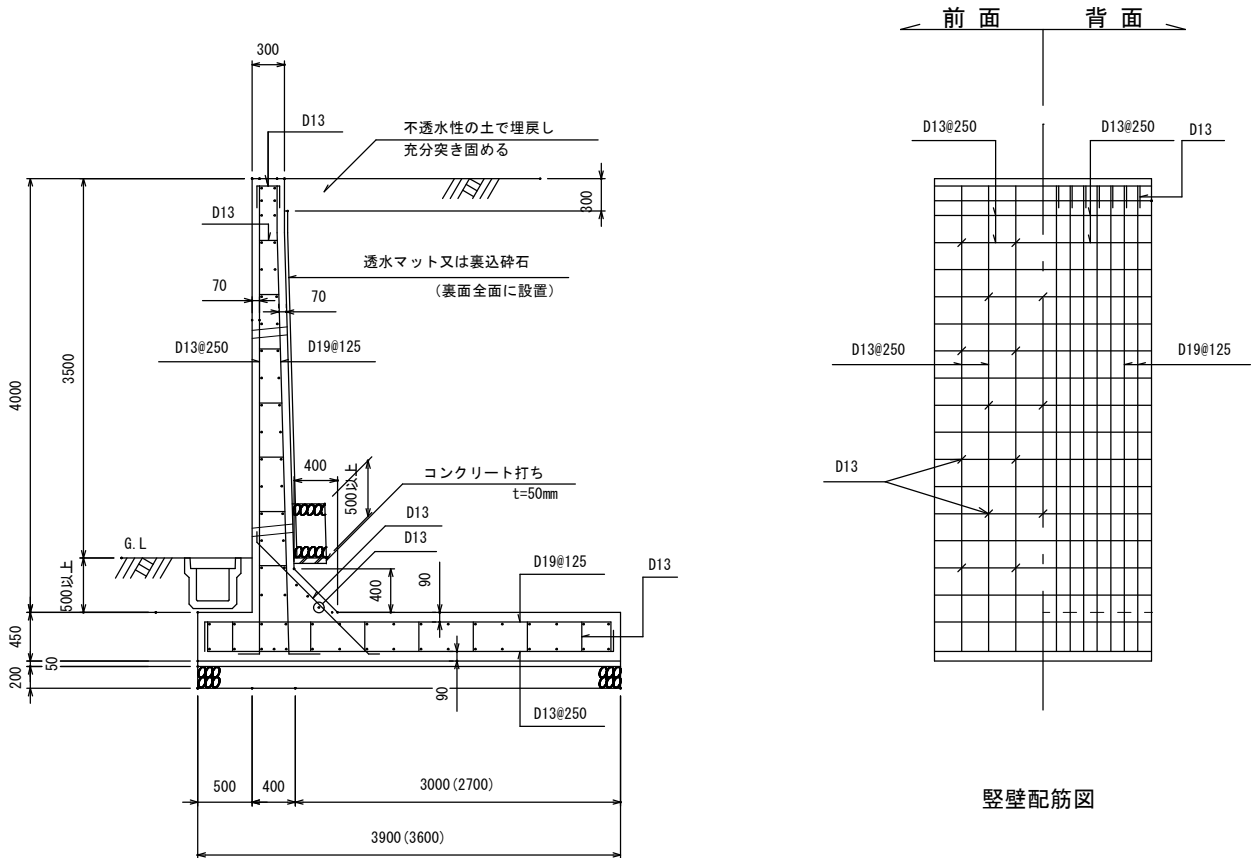
項目		単位
地耐力（砂質土）	110(11.0):透水マット 120(12.0):碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

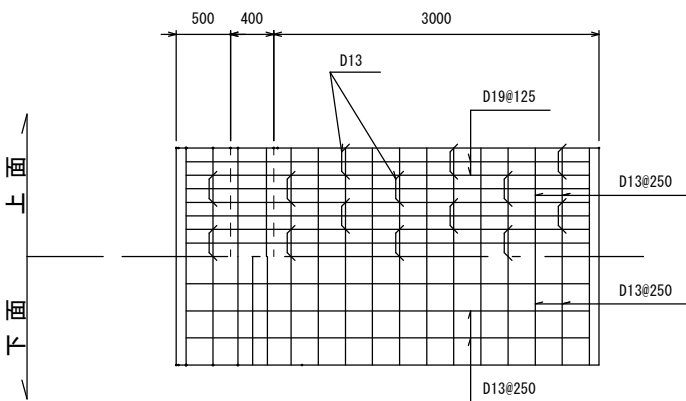
縮尺 1/70
単位 mm

見かけ高さ3.5m(G T-3.5)



縦壁配筋図

根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること
底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる



底版配筋図

設計条件

項目		単位
地耐力（砂質土）	130(13.0):透水マット 140(14.0):砕石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

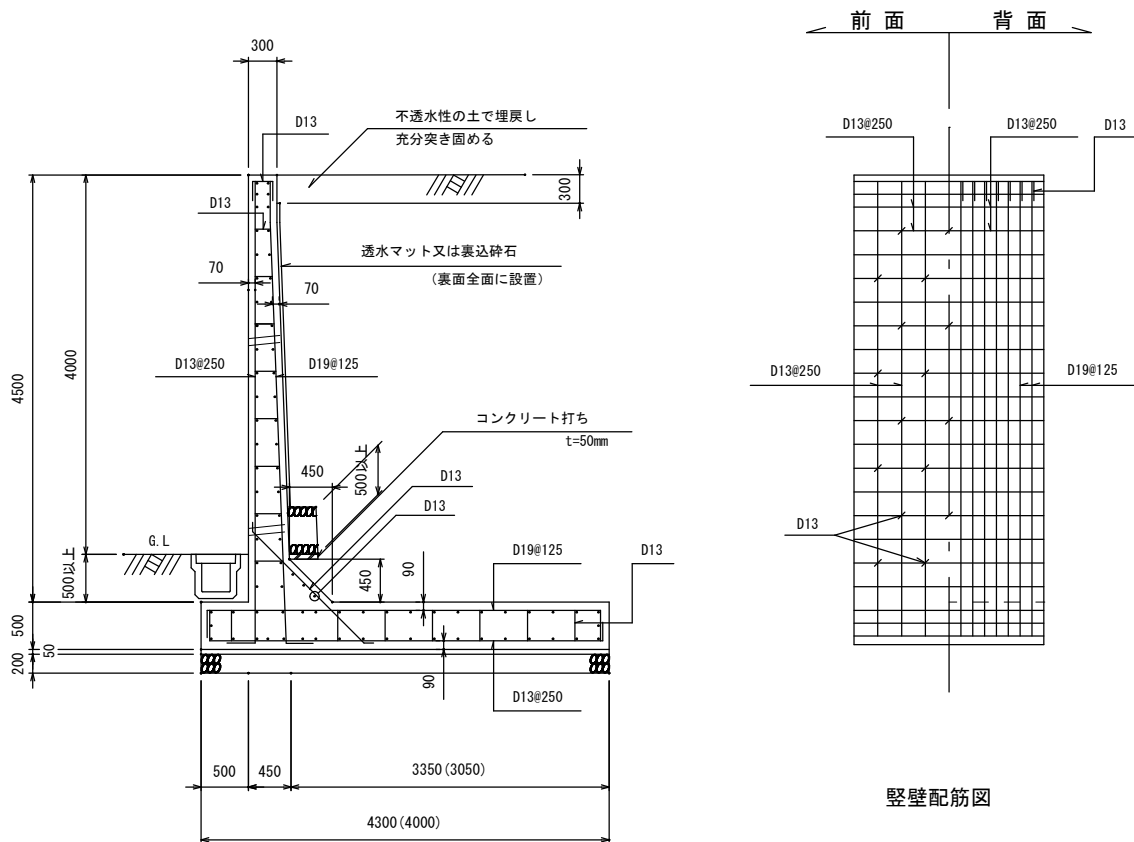
※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/80

単位 mm

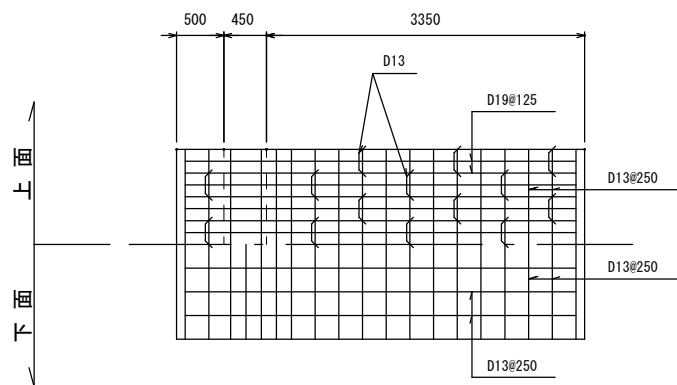
見かけ高さ4.0m(G T-4.0)



根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること

底版幅：透水層に砕石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底版配筋図

設計条件

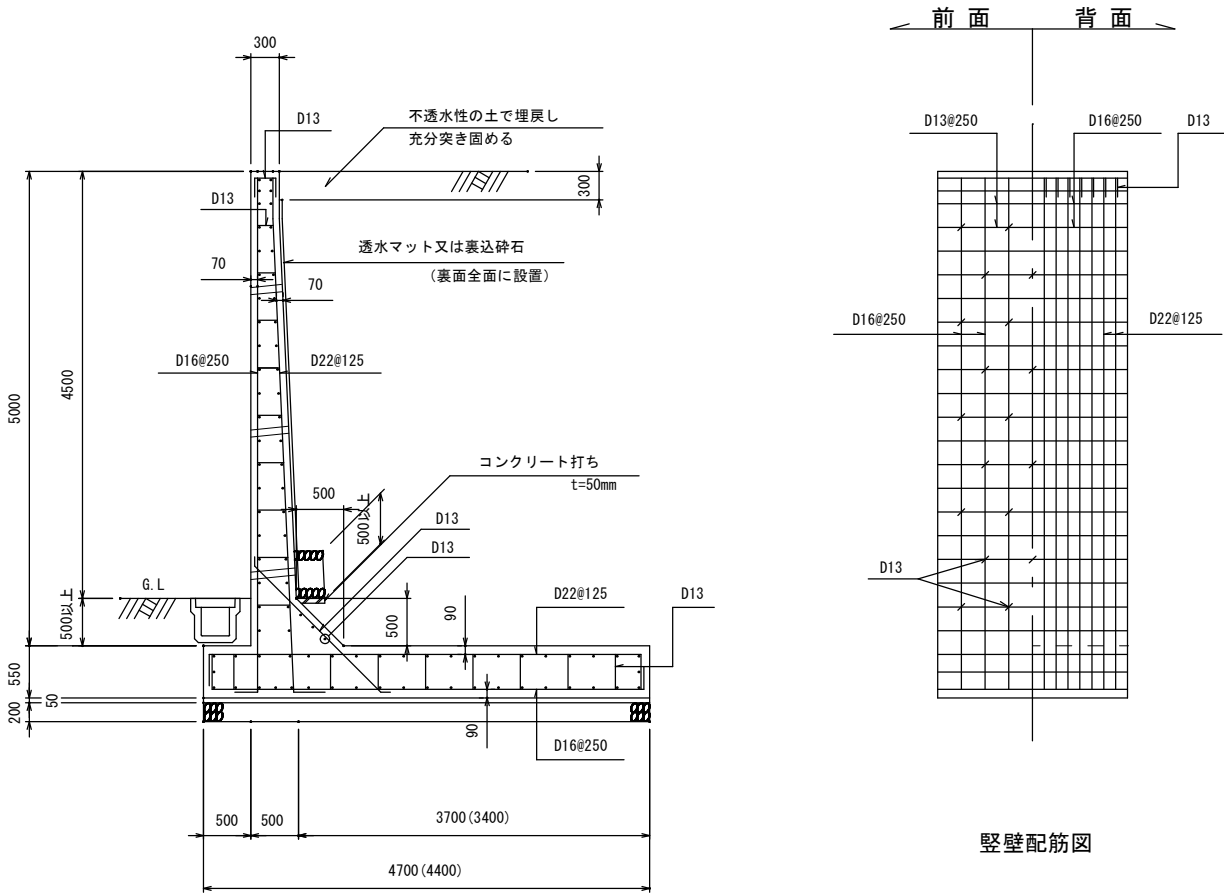
項目		単位
地耐力（砂質土）	150(15.0)：透水マット 160(16.0)：砕石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類（砂質土）	内部摩擦角 φ25° 以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度 (σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m (tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/80
単位 mm

見かけ高さ4.5m(GT-4.5)

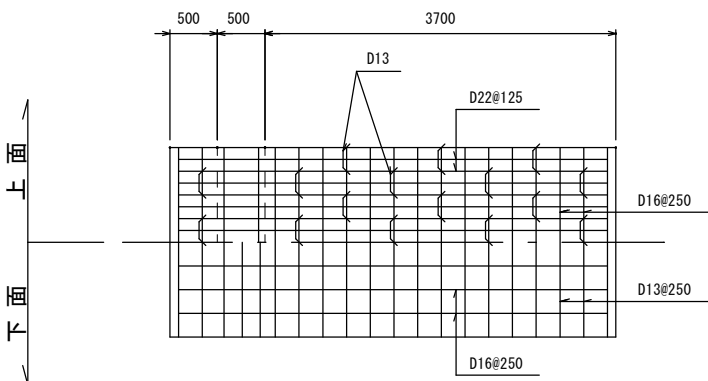


縦壁配筋図

根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること

底版幅：透水層に碎石、栗石等（厚さ30cm以上）を裏面全面に設置して用いる場合は（ ）内数値まで底版幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底版配筋図

設計条件

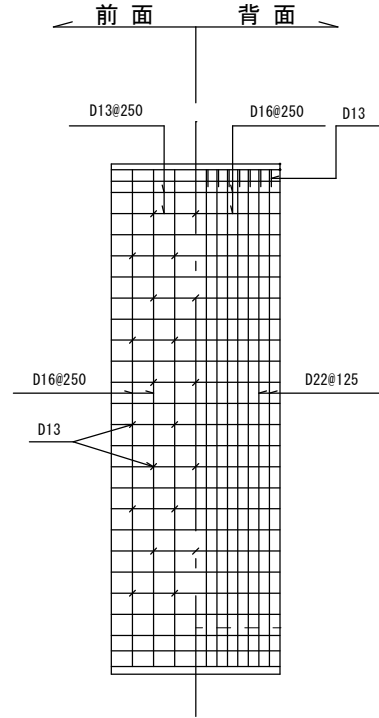
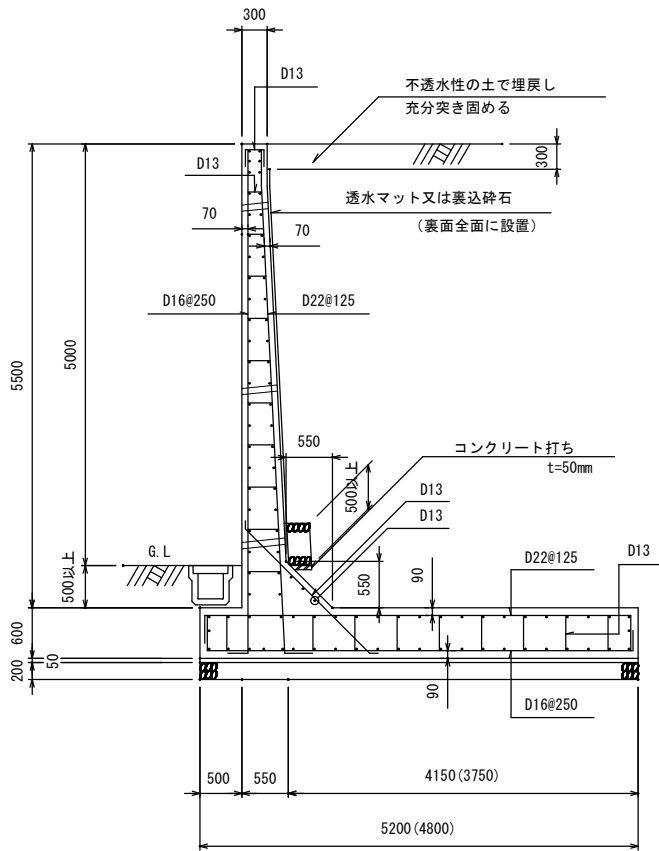
項目		単位
地耐力(砂質土)	170(17.0):透水マット 180(18.0):碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	-
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること

名古屋市(宅造用)逆T型擁壁

縮尺 1/90
単位 mm

見かけ高さ5.0m(GT-5.0)

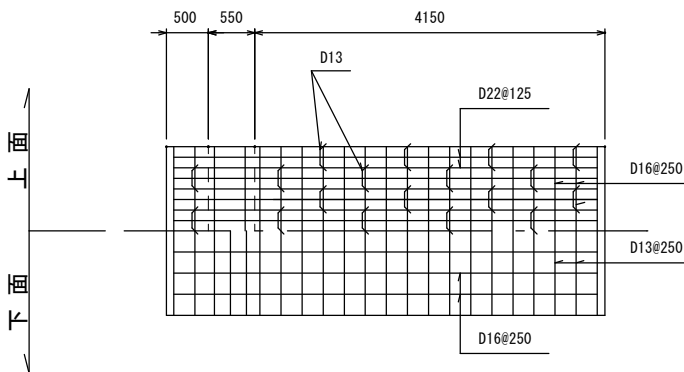


豎壁配筋図

根入れ：前面にU字溝を設けない場合は、底版下から規定の根入れを確保すること

底版幅：透水層に碎石、栗石等(厚さ30cm以上)を裏面全面に設置して用いる場合は()内数値まで底版幅を縮小できる

※平板載荷試験又はボーリング調査等により地耐力を確認できる資料を提出すること
地耐力が確認できない場合、地耐力確保の検討を行い、その検討書を提出すること



底版配筋図

設計条件

項目		単位
地耐力(砂質土)	190(19.0):透水マット 200(20.0):碎石等	kN/m ² (tf/m ²)
背面土の種類(砂質土)	内部摩擦角 φ25°以上	
背面土の単位体積重量	17(1.7)	kN/m ³ (tf/m ³)
鉄筋コンクリートの単位体積重量	24(2.4)	kN/m ³ (tf/m ³)
コンクリートの設計基準強度(σ ₂₈)	21(210)	N/mm ² (kgf/cm ²)
鉄筋(SD295A)の降伏点	295(3000)	N/mm ² (kgf/cm ²)
地表面載荷重	10(1.0)	kN/m ² (tf/m ²)
耐震設計	大地震・中地震を考慮している	—
フェンス荷重	1(0.1)	kN/m(tf/m)

※水抜穴は内径75mm以上の塩ビ管その他これに類する耐水材料を用いたもので3m²当り1箇所以上設けること